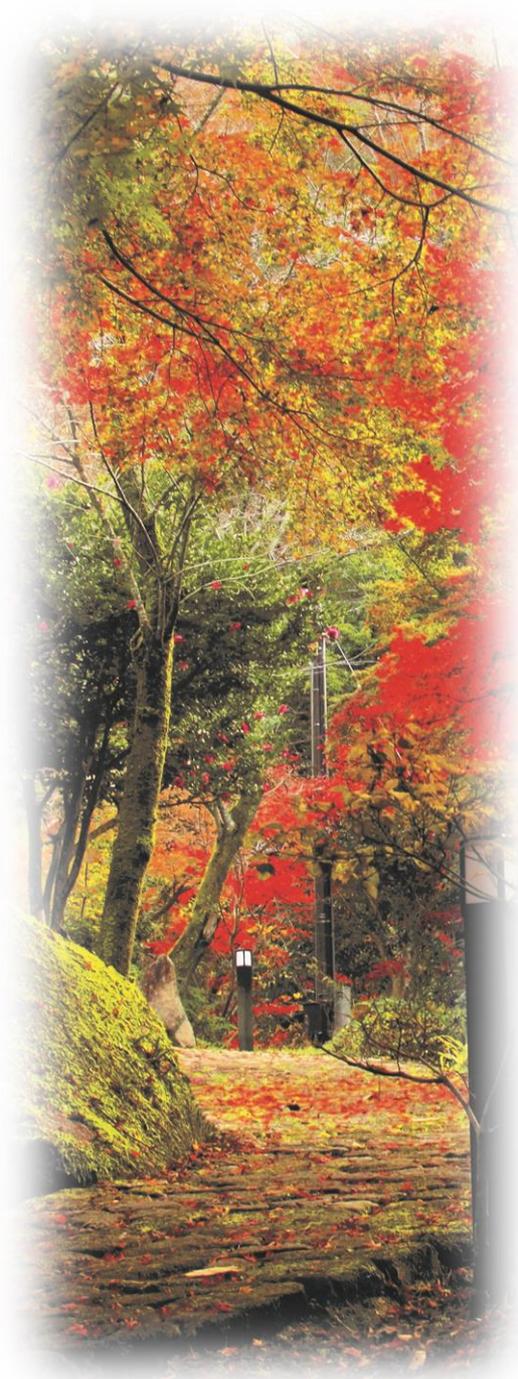
A photograph of a stone wall on the left side of a gravel path that leads into a forest. The wall is made of large, dark, irregular stones. The path is made of small, light-colored gravel. The forest in the background has many trees with green and yellow leaves, suggesting an autumn setting. The overall scene is peaceful and scenic.

# 第2期御嵩町観光基本計画 (案)

御 嵩 町

## 第2期御嵩町観光基本計画：目次

<b>1. 観光計画策定にあたって</b>	
1-1. はじめに-----	2
1-2. 計画の期間-----	2
1-3. 第1期計画の施策と取組実績-----	3
<b>2. 観光基本計画策定の背景と基本方針</b>	
2-1. 既存計画の整理-----	5
2-2. コロナ禍における国の政策プラン-----	10
2-3. 観光基本計画策定基本方針-----	13
<b>3. 新型コロナウイルス感染症による市場の変化</b>	
3-1. 観光客数-----	14
3-2. 新型コロナウイルス感染症による変化---	15
3-3. 岐阜県の観光統計-----	18
<b>4. 現状調査</b>	
4-1. 位置-----	22
4-2. 人口推移-----	23
4-3. 観光客数-----	24
4-4. 外国人観光客-----	25
<b>5. 地域資源</b>	
5-1. 地域資源-----	26
5-2. 地区別特性-----	27
5-3. 既存イベント-----	28
5-4. 特産品-----	29
5-5. 名鉄広見線-----	31
5-6. 広域観光圏-----	35
<b>6. 観光基本計画の検討に向けて</b>	
6-1. 現状・課題の整理と今後の方向性-----	36
<b>7. 観光基本計画</b>	
7-1. 基本コンセプト-----	37
7-2. 顧客ターゲット-----	38
7-3. ポジショニング-----	39
7-4. 将来の目標設定-----	40
<b>8. 計画推進施策</b>	
8-1. 施策体系-----	41
8-2. 施策ごとの具体的取組-----	42
<b>9. 計画推進方針</b>	
9-1. 推進方針-----	45
9-2. 官民連携の役割分担-----	46
9-3. 中間支援組織-----	46



# 1. 観光計画策定にあたって

## 1-1. はじめに

本町では、平成29年度から令和3年度までの5か年を計画期間とする「御嵩町観光基本計画」を平成28年度に策定し、「日本一、中山道に身を染められる宿場町」を基本コンセプトに4本の基本方針と10の施策を掲げ、事業を展開してきました。

しかしながら、令和2年初頭より世界中で広がりを見せた新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の行動が制限され、新しい生活様式の浸透とともに観光の在り方も大きく変化しつつあります。特に、観光基本計画においてメインターゲットとしてきた訪日外国人観光客は皆無となり、コロナ禍以前の状況に回復するまでには、今しばらくの月日を要することが想定されることから、前計画を踏襲しつつ方向性について見直す必要性が生じました。

また、令和元年度に策定した「第2期みたけ創生!!総合戦略」及び令和2年度に策定した「御嵩町第五次総合計画後期基本計画」において、持続性の高いまちづくりを進めるため、各種施策においてSDGsとの関連性が明記されたことにより、今後策定する各種計画においてもこれを意識した計画とすることが求められるとともに、新たな生活様式に対応するための新たな観光の在り方や情報の発信の仕方についても模索していくことが必要です。新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見通せない状況にはありますが、ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえた第2期御嵩町観光基本計画を策定し、本計画に基づく観光客増加と観光客の消費拡大によって、御嵩町経済の活性化と観光振興を通じた他圏域との交流の活発化、また観光サービス活動を通じて町民の自信や地域愛着心の向上を図ります。さらに、観光事業者のみに限らず、より多くの町内事業者、地域づくり関連団体及び町民が御嵩町の観光振興に関与できるように工夫し、観光振興による本町の活性化を目指します。

注) SDGs (エス・ディ・ジーズ: Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)、とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

## 1-2. 計画の期間

第2期御嵩町観光基本計画の期間は、令和4年度(2022年度)から、令和8年度(2026年度)までの5年間とします。

### 1-3. 第1期計画の施策と取組実績

基本方針1：中山道を軸とした魅力ある観光地づくり		
計画に掲げた施策		計画期間中の取組実績
【施策1-1】 特性を生かした地区整備	町内4地区の特性を生かした整備を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・願興寺本堂の大規模改修、商家竹家の改修</li> <li>・滞在型農業体験施設「四季の家」の開設（指定管理）</li> <li>・諸之木峠公衆トイレの整備</li> </ul>
	必要に応じた環境・拠点の整備	
【施策1-2】 観光戦略拠点エリアの整備	歴史地域資源を活用したエリア整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城址ガイドマップの作成</li> <li>・小原城址周辺の環境整備と森林学習会の開催</li> <li>・山城平城を巡るクイズラリーの実施</li> </ul>
	中山道沿道の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山道道中の案内サイン路面貼付と良好な維持管理</li> </ul>
	御嶽宿における拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古民家の活用（ハンドメイド服販売店）</li> <li>・「柏屋」を有効活用のため民間会社へ売却</li> </ul>
	中山道を楽しむ拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伏見一本松公園におけるらくだマルシェの開催</li> <li>・謡坂地内に無料休憩所「いろは茶屋」の開設</li> </ul>
	里山集落を活かした拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山集落を活かした滞在型農業体験施設「四季の家」の開設</li> </ul>
基本方針2：日本一の中山道体験を提供するための環境づくり		
【施策2-1】 中山道滞在プログラムの開発	生活や歴史を感じる体験プログラム開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験ツアーパンフレットの作成</li> </ul>
	新しい滞在・観光スタイルの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「17宿体験プログラム（春・秋）」の実施（中山道、御嶽宿、伏見宿）</li> </ul>
	中山道と連動する新たな観光プログラム開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃中山道連合スタンプラリーの開催</li> </ul>
	食の魅力の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所（駅舎）における特産品販売開始</li> <li>・御嵩町特産品開発普及協議会の立ち上げ</li> <li>・みたけのええもんの追加認定とたからもん部門の創設</li> <li>・町内、県内外におけるええもんキャラバンの実施</li> </ul>
	経済効果に結びつくイベントづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコビアガーデンの開催</li> <li>・鬼岩岩穴くぐり及び鬼の一刀岩プロモーションの実施</li> <li>・まちづくり団体主催による宿の市の開催</li> </ul>
	外国人受け入れ態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山道解説アプリの開発</li> <li>・中山道、鬼岩公園の英語版パンフレットの作成</li> </ul>
【施策2-2】 新しい中山道周遊の創出	中山道に身を染める多様な周遊ルートの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山道走破サイクリングマップ（Web版）の作成</li> </ul>
【施策2-3】	利便性の高い交通機能の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所におけるレンタサイクル事業の展開</li> </ul>

複合的な交通網の利活用	名鉄広見線活性化に向けた沿線魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みたけの森花あるきイベントの開催</li> <li>・あかでんランド等各種イベントの開催</li> <li>・御嶽宿・伏見宿ひなまつりイベントの開催</li> <li>・名鉄広見線スタンプラリーの開催</li> </ul>
【施策 2-4】 広域観光連携の推進	周辺市町村との広域観光連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麒麟がくる推進協議会（7市1町）による広域観光連携</li> <li>・東美濃歴史街道協議会（6市1町）による広域観光連携</li> <li>・飛騨木曾川国定公園連絡協議会（6市6町）による広域観光連携</li> <li>・御嵩町～八百津町サイクリングマップの作成</li> <li>・鬼岩福おにまつりの開催</li> <li>・鬼岩公園岩穴くぐりガイド付きツアーの通年開催（4月～11月）に向けた試行ツアーの開催</li> </ul>
	前後の宿場町との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山道往来（御嶽宿～細久手宿）の開催</li> </ul>
<b>基本方針 3：ターゲットに明確に伝える情報発信</b>		
【施策 3-1】 情報発信内容の明確化	多地域とは違う御嵩町の価値の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・願興寺本堂解体状況のテレビ放映</li> <li>・大河ドラマ「麒麟がくる」と連携したアクションプランの推進（可児才蔵のプロモーション、顔戸城址のPR）</li> <li>・可児才蔵プロモーション動画の制作と武功伝承館の開館</li> <li>・関ヶ原古戦場記念館における可児才蔵展の開催</li> <li>・可児才蔵の語り部育成（8名応募）</li> <li>・インスタグラムフォトコンテストの開催とカレンダーの制作</li> </ul>
【施策 3-2】 情報発信手法の確立	顧客ターゲットに応じた発信手法の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御嶽宿境界のWi-Fi環境の整備</li> <li>・伏見西坂に可児才蔵・四季の家・鬼岩のPR看板設置</li> <li>・ふれあいバスに可児才蔵の墨絵をラッピング</li> <li>・SNS、YouTube等を活用した情報発信</li> <li>・リモート観光ツアー動画の制作、配信</li> </ul>
<b>基本方針 4：計画実施及び推進体制</b>		
【施策 4-1】 事業主体の確立	主体的に取り組む「まちづくり団体」の設立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一般社団法人てらす」の設立</li> <li>・「みたけまちづくり株式会社」の設立</li> </ul>
【施策 4-2】 事業検証・推進体制の確立	事業の検証と推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光基本計画推進交流会議の開催</li> </ul>



## 2. 観光基本計画策定の背景と基本方針

### 2-1. 既存計画の整理

観光基本計画の検討に向けて、御嵩町のまちづくりの指針となる「御嵩町第五次総合計画後期基本計画（令和3年3月策定）」と、まち・ひと・しごと創生の実現に向けた効果的な施策・具体的な取組みをまとめた「第2期みたけ創生!!総合戦略（令和2年3月策定）」の中で観光基本計画に関連する計画内容や数値目標を整理しました。

#### （1）御嵩町第五次総合計画後期基本計画

御嵩町の行政計画の最上位計画となる「御嵩町第五次総合計画後期基本計画」の概要は下記のとおりです。本計画の方向性を踏まえながら、観光基本計画の検討を行います。

項目	内容
<b>①概要</b>	
趣旨	「行政計画の最上位計画」となる「新しいまちづくりの指針」
計画期間	基本構想：目標年次 平成28年度（2016）～令和7年度（2025）の10年間 基本計画：前期基本計画 平成28年度（2016）～令和2年度（2020）の5年間 後期基本計画 令和3年度（2021）～令和7年度（2025）の5年間 実施計画：計画期間3ヵ年 毎年計画を見直すローリング方式を採用する
<b>②基本構想</b>	
まちづくりの理念	「参加のまちづくり」から「協働のまちづくり」へ
町の将来像 (キャッチコピー)	つながる・あふれる・輝くまち
目指すまちの姿	1 良好な環境を誇りとするまち 方向性1 みどりや水を守り育てる 方向性2 環境にやさしいまちを実現する 2 笑顔で育ちあうまち 方向性1 未来を担う人材を育てる 方向性2 学び合いの中から人材を育む 3 みんなが支えあうまち 方向性1 住民自治活動を活発化する 方向性2 誰もが安心して暮らせるまちにする 方向性3 暮らしの安全を確保する 方向性4 町民の健康づくりを支援する 4 多くの人が行き交うまち <u>方向性1 地域資源を生かし、交流の機会を増やす</u> <u>方向性2 地域の魅力を効果的に発信する</u>

	<p><b>方向性 3 魅力的な産業創造に挑戦する</b></p> <p>5 暮らしてみたくなるまち</p> <p>方向性 1 暮らしの安全・安心を支える</p> <p>方向性 2 暮らしの安全性を向上させる</p> <p><b>方向性 3 まちの個性と地域文化を創造する</b></p> <p><b>方向性 4 まちの特性にあわせた都市基盤を整備する</b></p>
<p><b>③基本計画（観光基本計画に関連する項目・数値目標を抜粋）</b></p>	
<p>【方向性 4-1】 地域資源を生かし、交流の機会を増やす</p> <p>《SDGsの推進》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div>	<p>&lt;基本施策&gt; 地域資源を生かし交流の機会を増やす</p> <p>&lt;単位施策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光魅力の向上</li> <li>・おもてなしの充実</li> <li>・地域振興イベントの魅力向上</li> </ul> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光入込客数（岐阜県観光入込客数統計調査） R元年度 44万人 → R7年度 53万人</li> <li>・御嶽宿わいわい館の入館者数 R元年度 7,376人 → R7年度 12,000人</li> <li>・みたけのええものラインアップ数 R元年度 23品目 → R7年度 27品目</li> </ul>
<p>【方向性 4-2】 地域の魅力を効果的に発信する</p> <p>《SDGsの推進》</p> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div>	<p>&lt;基本施策&gt; 地域の魅力を効果的に発信する</p> <p>&lt;単位施策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンプロモーションの推進</li> <li>・地域情報の発信強化</li> </ul> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者にとって住み続ける魅力があると回答する町民の割合 R元年度 20.5% → R7年度 UP↑</li> <li>・町SNSのフォロワー数 R元年度 3,020カント → R7年度 4,000カント</li> <li>・御嵩町は町外の人にとって「住んでみたい」、「来訪したい」というイメージがあると回答する町民の割合 R元年度 9.4% → R7年度 UP↑</li> </ul>
<p>【方向性 4-3】 魅力的な産業創造に挑戦する</p> <p>《SDGsの推進》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div>	<p>&lt;基本施策&gt; 魅力的な産業創造に挑戦する</p> <p>&lt;単位施策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来につなげる農林業の推進</li> <li>・魅力的な商業・サービス業の育成</li> <li>・工業団地の整備と企業誘致</li> <li>・起業支援と雇用機会の創出</li> </ul> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者数（新規就農者事業を通じた農業定着者数） R元年度 0人 → R7年度 2人</li> <li>・森林経営計画樹立面積 R元年度 430.6ha → R7年度 562.0ha</li> <li>・工業団地における町内居住従業員率 R元年度 21.1% → R7年度 25.0%</li> </ul>

<p>【方向性 5-3】 まちの個性と地域文化を創造する</p> <p>《SDGsの推進》</p>    	<p>&lt;基本施策&gt; まちの個性と地域文化を創造する</p> <p>&lt;単位施策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観の保全</li> <li>・歴史文化の保全と継承</li> <li>・地域文化の創造</li> </ul> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりに対する満足率（町民アンケート調査） R元年度 13.0% → R7年度 UP↑</li> <li>・歴史文化に関する講座参加者数 R元年度 313人 → R7年度 350人以上</li> <li>・地域文化に関わる企画展・特別展入場者数（累計） R元年度 — → R7年度 36,000人</li> </ul>
<p>【方向性 5-4】 まちの特性にあわせた都市基盤を整備する</p> <p>《SDGsの推進》</p>  	<p>&lt;基本施策&gt; まちの特性にあわせた都市基盤を整備する</p> <p>&lt;単位施策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用促進と体系の見直し</li> <li>・都市公園等の維持管理</li> </ul> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御嵩町自主運行バスの利用者数 R元年度 20,949人 → R7年度 25,000人</li> <li>・公園・緑地に対する満足率（町民アンケート調査） R元年度 9.3% → R7年度 UP↑</li> </ul>

## (2) 第2期みたけ創生!!総合戦略

まち・ひと・しごと創生の実現に向けた戦略となる「第2期みたけ創生!!総合戦略」の概要は下記のとおりです。本戦略の方向性を踏まえながら、観光基本計画の検討を行います。

項目	内容
<b>①概要</b>	
趣旨	「御嵩町人口ビジョン」で示している本町の人口を取り巻く現状や課題、今後の方向性を踏まえ、「まち・ひと・しごと創生」の実現に向けた効果的な施策や具体的な取組みを取りまとめたもの。
対象期間	令和2年度（2020年）～令和6年度（2024年）の5年間
<b>②戦略の方向性</b>	
戦略の視点	“きずな”と“つなぎ”でみたけ創生
戦略の理念	森林の緑と清流で彩られ、中山道の歴史文化が根付いている舞台を生かして「ひと」「こと」「もの」の縁結びを理念に推進する。
新たな4つの視点	<p>(1) SDGsの推進 本戦略の推進にあたっては、それぞれの施策等のSDGsとの関連を捉えていくものとする。</p> <p>(2) 「興味を惹く」地域の形成</p>

	<p>上之郷、御嵩、中、伏見の各地区においては人口減少社会の中において、コミュニティを維持して快適で豊かな生活を営み続けることができ、更に特色ある「出会いと賑わい」の創出を目指す。</p> <p>(3)「関係人口」創出の方針（イメージ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 御嵩町にルーツがある人々などとの関係を深める</li> <li>○ 御嵩町で学ぶ・学んだ人々との関係を深める</li> <li>○ 新たなワーク・ライフスタイルの場をつくる</li> <li>○ SDG s 推進への企業活動促進</li> <li>○ 御嵩町の多彩な情報発信の展開</li> <li>○ 御嵩町を環境教育のフィールド、舞台とする</li> </ul> <p>(4)ダイバーシティ（多様性のある社会づくり）の推進</p>
<p>施策体系        ≪SDG s の推進≫</p> 	<p>【基本目標 1】自然のエネルギー活用を</p> <p><b>施策 1 エネルギーの需要と循環利用</b></p> <p>施策 2 自然環境の保全と活用        施策 3 環境意識の向上と環境教育の一層の推進</p> <p>【基本目標 2】安心でワクワクするさずなを</p> <p>施策 1 安心して子育て・子育てしやすい環境づくり</p> <p><b>施策 2 移住促進、2 地域居住等による定住・関係人口の創出</b></p> <p>施策 3 暮らしの安全・安心の確保</p> <p>【基本目標 3】挑戦のバイタリティーを</p> <p>施策 1 IoT、AI 等を活用した新産業創出</p> <p><b>施策 2 農林産品等の資源を活かしたブランド開発・販路拡大</b></p> <p>施策 3 新産業分野の人材育成のためのキャリア教育</p> <p><b>施策 4 着地型・体験型の観光交流の推進</b></p> <p>【基本目標 4】みたけのレガシー創出を</p> <p>施策 1 興味深い取組みへの支援</p> <p><b>施策 2 みたけ興味深い「こと」づくりを情報発信</b></p> <p>施策 3 地域を担う人材の育成と活用        施策 4 外部人材の登用で興味を惹くまちに</p>
<p>③総合戦略（観光基本計画に関連する項目・数値目標を抜粋）</p>	
<p>【施策 1】        エネルギーの需要と循環利用</p>	<p>&lt; 施策概要・目的 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の移動手段として環境にやさしい公共交通や自転車、徒歩での移動の促進を図り、観光客など来訪者にも利用を促進します。</li> </ul> <p>&lt; KPI &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名鉄広見線（新可児～御嵩間）延べ利用者数          H30 年度 896,043 カウント → R6 年度 898,000 カウント</li> <li>・公共交通（自主運行バス）の利用者数          H30 年度 24,069 人 → R6 年度 25,000 人</li> <li>・レンタサイクル利用者数          H30 年度 142 人 → R6 年度 213 人</li> </ul>

	<p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通ネットワークの形成、利用促進事業</li> <li>・ノーマイカーデー運動推進事業</li> <li>・レンタサイクル活用事業</li> </ul>
<p><b>【施策 2】</b> 移住促進、2 地域居住等による定住・関係人口の創出</p>	<p>&lt;総合戦略で目指す方向性&gt;</p> <p>・良質で健康的な住まい確保を支援して、御嵩町の自然豊かな暮らしや人々の暖かい“きずな”の中でライフスタイルの実現を目指す人々の移住・定住を図ります。</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京圏からの移住就業者数 H30 年度 一人 → R6 年度 5 人</li> <li>・空き家バンク登録物件の成約数 H30 年度 15 件 → R6 年度 35 件</li> </ul> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住交流・子育て支援ポータルサイトブラッシュアップ事業</li> <li>・空き家家財道具等処分費補助事業</li> </ul>
<p><b>【施策 3】</b> 農林産品等の資源を生かしたブランド開発・販路拡大</p>	<p>&lt;施策概要・目的&gt;</p> <p>・農産物等の資源を生かし、その付加価値を高める 6 次産業化と販売促進を進めることにより、新規就農の促進や農地の保全を図ります。</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御嵩町特産品開発普及協議会の販売額 H30 年度 674 千円 → R6 年度 1,348 千円</li> </ul> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みたけのええもんをはじめとする特産品のインターネット販売導入事業</li> </ul>
<p><b>【施策 4】</b> 着地型・体験型観光交流の推進</p>	<p>&lt;施策概要・目的&gt;</p> <p>・御嵩町の資源を掘り起こしながら、着地型・体験型の観光プログラムを開発するとともに、積極的な観光 P R と誘客を強化します。</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御嶽宿わいわい館の入館者数 H30 年度 8,058 人 → R6 年度 12,000 人</li> <li>・滞在型農業体験施設の宿泊者数 H30 年度 一人 → R6 年度 3,600 人</li> </ul> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿場町のにぎわい創出事業</li> <li>・滞在型農業体験施設活用事業</li> <li>・観光プロモーション促進事業</li> <li>・鬼岩公園環境整備事業</li> </ul>
<p><b>【施策 5】</b> みたけの興味深い「こと」づくりを情報発信</p>	<p>&lt;施策概要・目的&gt;</p> <p>外国人材との交流や多文化共生を進め、みたけを情報発信する人々の拡大を図り、“きずな”づくりを進めます。</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町 SNS のフォロワー数 H30 年度 3,020 カウント → R6 年度 4,000 カウント</li> <li>・町が導入したアプリのダウンロード数 H30 年度 9,624 件 → R6 年度 13,000 件</li> </ul> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでみたけのインフルエンサー事業</li> </ul>

## 2-2. コロナ禍における国の政策プラン

### (1) 感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン

観光は、全国で約900万人の方が従事する産業であり、我が国が観光立国として生きていくためには、まずは、観光回復の大前提となる感染拡大防止策を徹底することが最重要となります。その上で、当面の回復を担う日本人国内旅行の需要を強力に喚起するとともに、ワーケーション（※P16参照）等の普及により、旅行市場を拡大しつつ、旅行需要を分散させ、混雑や密を低減させること。また、本格的なインバウンド回復に向けて、より一層日本の魅力を高めるべく、回復までの期間を活用して、観光産業の再生、国内外の観光客を惹きつける滞在コンテンツの充実、先端技術も活用した受け入れ環境整備を一挙に進めること。さらに、国内外の感染状況等を見極めた上で、インバウンドの段階的復活に向けた取組みを進めます。

以上を踏まえ、以下の取組みを本政策プランの柱として、関係省庁が緊密に連携して、着実に実行することとします。

#### (1) 感染拡大防止策の徹底とG o T oトラベル事業の延長等

- ・事業者と旅行者双方の感染拡大防止策の徹底
- ・G o T oトラベル事業における感染拡大防止策の徹底
- ・G o T oトラベル事業の延長と適切な運用
- ・G o T oトラベル事業も活用した修学旅行の促進
- ・ワーケーション等の促進のための企業と地域双方の環境整備
- ・官民連携した分散型旅行の促進
- ・休暇取得の促進

#### (2) 国の支援によるホテル、旅館、観光街等の再生

- ・国の支援によるホテル、旅館、観光街等の再生
- ・宿泊施設のデジタル・トランスフォーメーション等の促進
- ・宿等の食の魅力向上とベジタリアン等への対応改善
- ・多様な人材確保と地域のインバウンド対応能力の向上
- ・地域公共交通の活性化等
- ・観光分野のスタートアップ企業等の発掘、横展開

#### (3) 国内外の観光客を惹きつけるコンテンツ造成

- ・地域に残る縦割り打破と地域に限る観光資源の磨き上げ
- ・スノーリゾート等の長期型コンテンツの造成
- ・文化観光拠点の整備等の促進
- ・上質なサービスを求める観光客誘致
- ・城や社寺、古民家、グランピング等の個性ある宿泊施設整備
- ・民族共生象徴空間（ウポポイ）のコンテンツ充実と誘客促進
- ・国立公園等の景観改善
- ・三の丸尚蔵館に収蔵されている皇室の貴重な美術品等の公開拡充
- ・福島県における観光復興の促進
- ・インバウンド関係の取組と農林水産品輸出に関する取組の連携
- ・飲食店、小売店頭における食の表示、メニューの多言語化等の促進
- ・観光地域づくり法人（DMO）の育成
- ・観光コンテンツ造成等に取り組む企業へのCJ機構による支援
- ・質の高いガイドの確保と育成
- ・デジタル技術を活用したコンテンツ磨き上げ等
- ・オンラインツアー等の促進

- ・日本政府観光局（JNTO）による国内向け情報発信
  - ・クルーズに関する環境整備
- (4) 観光地等の受け入れ環境整備（多言語化、Wi-Fi 整備等）
- ・観光地等における多言語対応等の促進
  - ・最先端技術を活用したストレスフリーな旅行の実現
  - ・観光地等におけるバリアフリーの促進
- (5) 国内外の感染状況等を見極めた上でのインバウンドの段階的復活
- ・インバウンドの回復に向けた試行的取組
  - ・東京大会における外国人観光客についての対応
  - ・我が国の安全・安心への取組に関する情報等の発信
  - ・我が国のコンテンツ発信等による訪日需要の喚起
  - ・アウトバウンドの段階的復活に向けた取組
  - ・ハイブリッド型 MICE 等の推進

## 感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン（概要）

- 観光には全国で約900万人の方が従事。雇用の維持と事業の継続が極めて重要。
- 今後は、**感染拡大防止策の徹底を大前提に、当面の観光需要の回復を担う日本人国内旅行の需要を強力に喚起しつつ、本格的なインバウンド回復に備えた取組を進める。**
- まずは**感染拡大防止策の徹底**。その上で、**Go To トラベル事業を延長し、ワーケーション等を普及させつつ、国内の観光需要を喚起。**
- 併せて、**本格的なインバウンド回復に向け**、国の支援によるホテル、旅館、観光街等の再生、魅力的な滞在コンテンツ造成、観光地等の受入環境整備、国内外の感染状況等を見極めた上でのインバウンドの段階的復活の取組を推進する。

### (1) 感染拡大防止策の徹底とGo To トラベル事業の延長等

#### ○感染拡大防止策の徹底

- ・事業者と旅行者双方の感染拡大防止策の着実な実施（業種別ガイドライン、新たな旅のエチケット等）
- ・Go To トラベルにおける感染拡大防止策徹底

#### ○Go To トラベル事業の延長

- ・例えば、中小事業者、被災地など観光需要の回復が遅れている事業者・地域へ配慮しつつ、Go To トラベルを延長、感染状況を踏まえて適切に運用

#### ○ワーケーション等の普及

- ・企業と地域双方の環境整備や、マッチング実施による企業と地域の継続的な関係性の構築

### (2) 国の支援によるホテル、旅館、観光街等の再生

- ・観光施設を再生し、さらに地域全体で魅力と収益力を高めるため、**新たな補助制度を創設、融資制度を大幅に拡充して、短期集中で強力に支援**。具体的には、
- ・①**観光施設全体が再生できるような施設改修に対する補助制度（負担割合:1/2）と、経営革新等の専門家による支援制度を創設するとともに融資制度を大幅に拡充。**
- ・②**地域の観光まちづくりの取組と連携した廃屋の撤去等についても新たに支援し、一挙に観光地としての景観を改善。**
- ・③**事業承継や事業統合、宿泊事業者間等での連携・協業を支援し、宿の収益性を改善、魅力を向上。**
- ・④**公共施設の魅力と収益力を向上すべく、これらの施設において民間活力を導入する場合の施設改修を支援。**

### (4) 観光地等の受入環境整備

- ・観光地等における**多言語対応、無料Wi-Fi等の整備等の促進**
- ・**最先端技術を活用したストレスフリーな旅行の実現**
- ・観光地等における**ハード・ソフト両面からのバリアフリーの促進**

### (3) 国内外の観光客を惹きつける滞在コンテンツ充実

- ・地域に残る**稼割りの打破と地域に眠る観光資源の磨き上げ**
- ・**スノーリゾートやアドベンチャーツーリズム等の高付加価値・滞在型コンテンツの造成**
- ・**城や社寺、古民家、グランピング等の個性ある宿泊施設整備**
- ・**上質なサービスを求める観光客誘致のための環境整備**
- ・**デジタル技術を活用したコンテンツ磨き上げ等**

### (5) 国内外の感染状況等を見極めた上でのインバウンドの段階的復活

- ・国内外の感染状況等を見極めつつ、感染状況が落ち着いている国・地域から、**ビジネストラックに準じた防疫措置を徹底の上、管理された小規模分散型パッケージツアーを試行的に実施**
- ・我が国の観光資源を含む**多様な魅力や安全・安心への取組に関する情報等の発信**による訪日プロモーションの実施

資料：首相官邸 HP (<https://www.kantei.go.jp>)  
令和2年12月3日観光戦略実行推進会議より

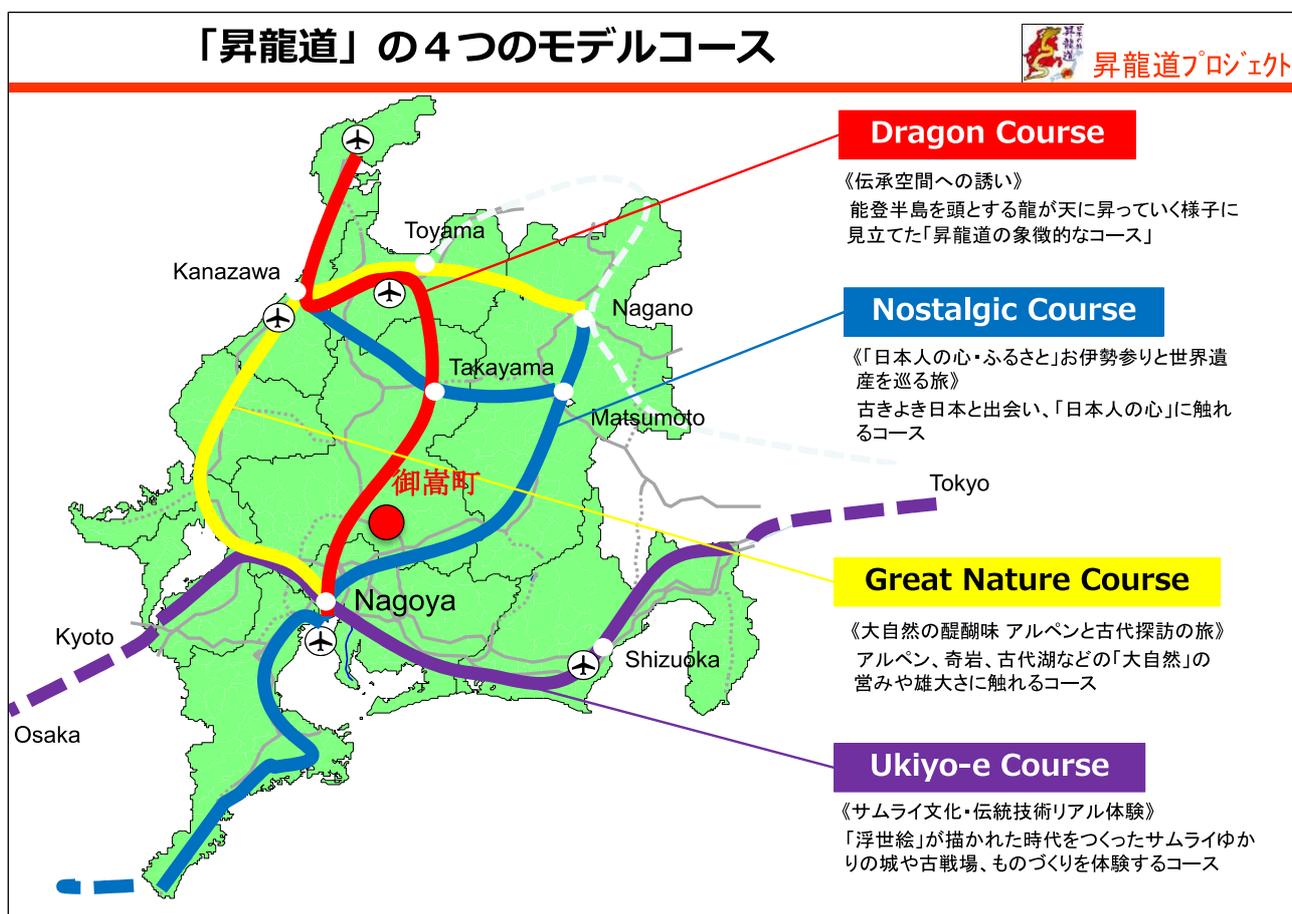


## (2) 昇龍道プロジェクト

「昇龍道プロジェクト」は、中部運輸局、北陸信越運輸局及び中部広域観光推進協議会において、岐阜県を含む中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者等と協働して中部北陸圏の知名度向上を図り、海外からのインバウンドを推進するための取組みで、国が認定する国内7つの広域観光周遊ルートの一つです。その中で、日本の「まん中」にあるのが昇龍道です。

中部・北陸地方（富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県）を「龍」に見立て、日本を代表する富士山をはじめとする「山々」、清らかな水に恵まれ育まれてきた「食・銘酒」、「サムライ」により形成されてきた歴史と伝統文化、匠により創り出され伝承されてきた「ものづくり」が、この地域が提案する広域観光周遊ルートのテーマです。

御嵩町は、昇龍道4つのモデルコースの中で、昇龍道の象徴的なルートで名古屋～飛騨～北陸へと向かう伝承空間を旅する「Dragon Course」と、古き良き日本の心に触れる「Nostalgic Course」の2つのルートの周辺に位置しています。



資料：昇龍道プロジェクト HP (<https://wwwtb.mlit.go.jp/chubu/kikaku/syoryudo/index.html>)

## 2-3. 観光基本計画策定基本方針

第2期御嵩町観光基本計画の策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症の早期収束を期待しつつ、観光振興は、活力あるまちづくりに向けた重要な取組みであり、本町の歴史文化を守るとともに、町内での消費を喚起することにより、町民の暮らしを豊かにする営みとしても捉え、下記のような基本方針を定めます。

### 【策定基本方針】

歴史ある中山道が東西に横断する御嵩町。  
御嶽宿などの歴史的資源や里山に残る昔ながらの集落など、  
日本の暮らしを残す地域資源がたくさん残っている。

この観光基本計画では、  
観光振興を「活力あるまちづくりに向けた取組み」と  
「歴史文化を守り、暮らしを豊かにする営み」として捉え、  
御嵩町のみらいをつくる「新しい観光のあり方（注）」について検討する。

（注）「新しい観光のあり方」とは、これまでの観光の概念から発展して、地域の歴史文化・豊かな暮らし・交流や賑わい・次世代の産業をかたちづくる「みたけのみらいを作る新しい原動力」として観光を捉える考え方。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による「新たな日常（ニューノーマル）」に対応する観光の考え方。

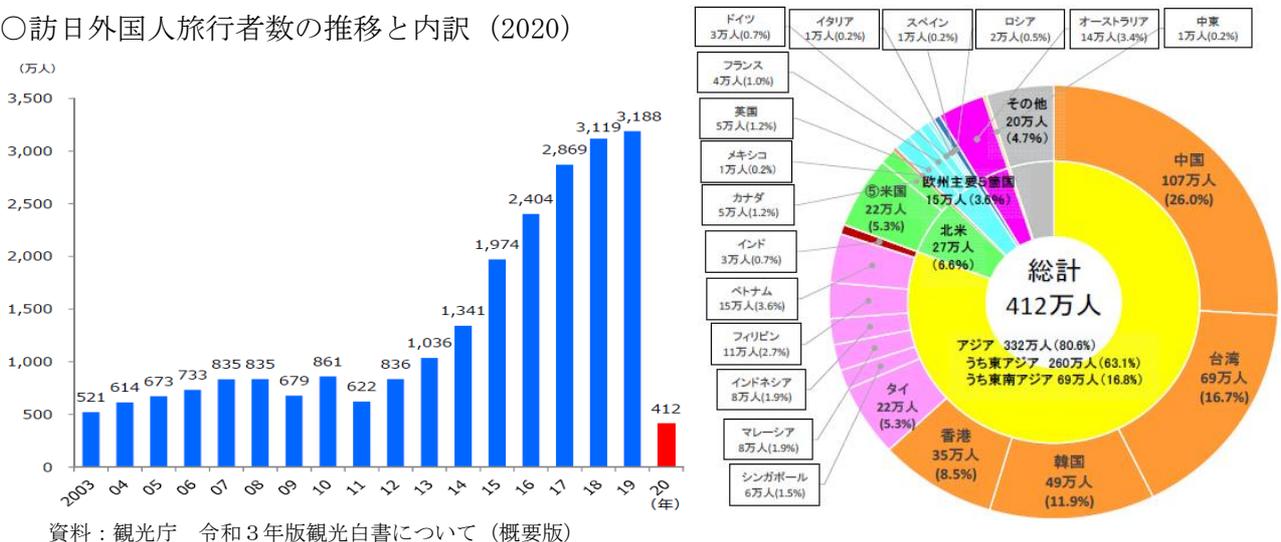


### 3. 新型コロナウイルス感染症による市場の変化

#### 3-1. 観光客数

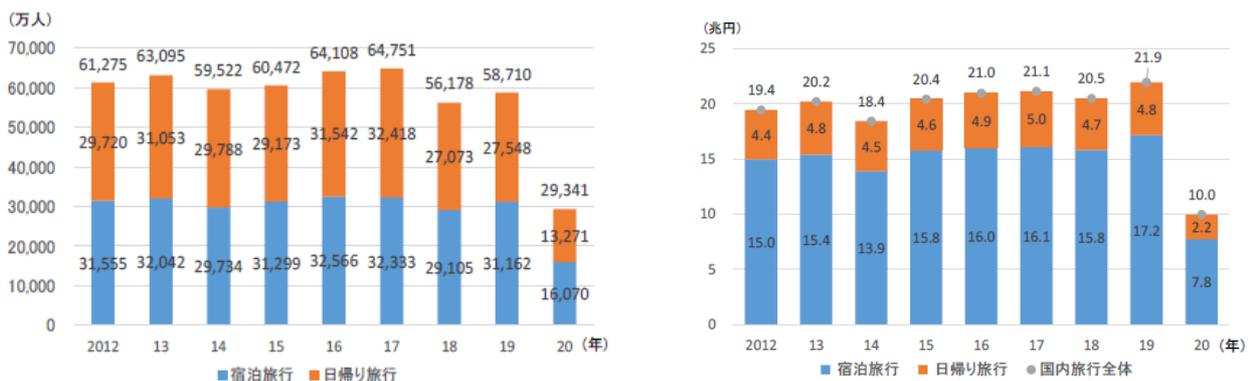
令和2年（2020年）は、世界的にまん延し始めた新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、右肩上がりが増加してきた訪日外国人旅行者数は412万人まで落ち込み、ワクチン接種が進む今日においても回復の時期は見通せない状況にあります。また、日本人国内宿泊・日帰り旅行（観光・レクリエーション・帰省・出張等を含む）の延べ人数及び国内旅行消費額も大きく減少しており、観光関連産業が我が国の成長産業の柱であり、地方創生の切り札と位置付けてきた政府においてもウィズコロナ、アフターコロナを見据え、新型コロナウイルス感染症対策により大きな打撃を受けている国内外の観光需要の回復に向けた戦略の立て直しと、観光関連事業継続のための矢継ぎ早な施策の展開が求められます。

○訪日外国人旅行者数の推移と内訳（2020）



資料：観光庁 令和3年版観光白書について（概要版）

○日本人国内宿泊、日帰り旅行延べ人数と国内旅行消費額の推移



資料：観光庁 旅行・観光消費動向調査

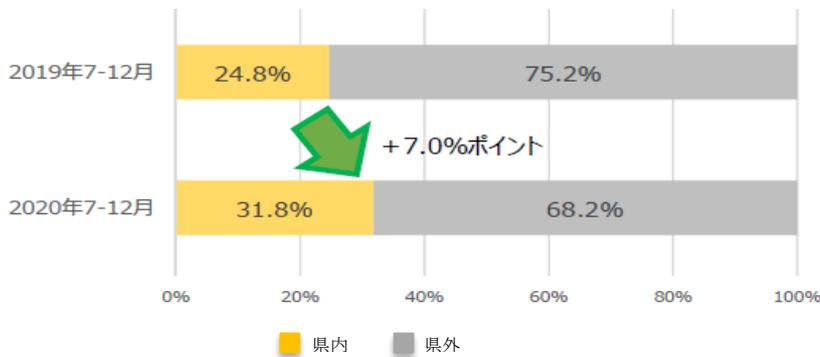
## 3-2. 新型コロナウイルス感染症による変化

### (1) 旅行形態

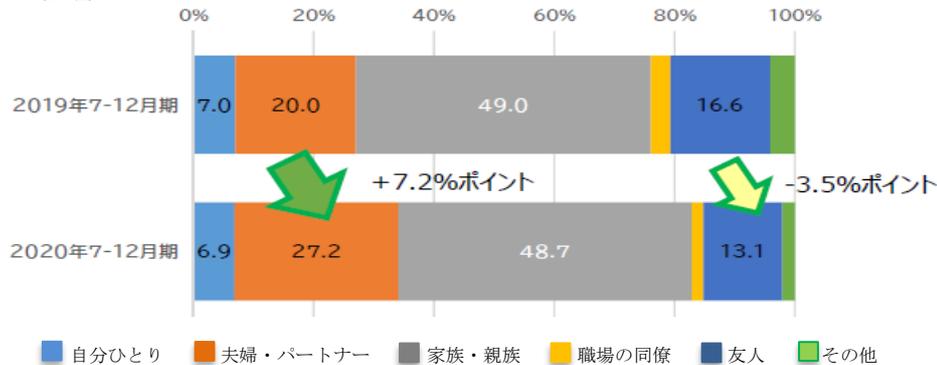
新型コロナウイルス感染拡大以降、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令とともに、不要不急な外出自粛や県外移動の自粛、修学旅行の延期や旅行日数の短縮等々、観光産業に携わる個人、事業者、自治体に深刻な影響が出ている傍ら、旅行の形態に変化が生じつつあります。

国内旅行においては、県内旅行をはじめ近隣地域での観光、いわゆるマイクロツーリズムの割合が増加傾向にあり、宿泊日数についても「1泊」の割合が高くなっています。また、同行者についても夫婦やパートナーの割合が増加する一方、友人と旅行する割合は減少しています。

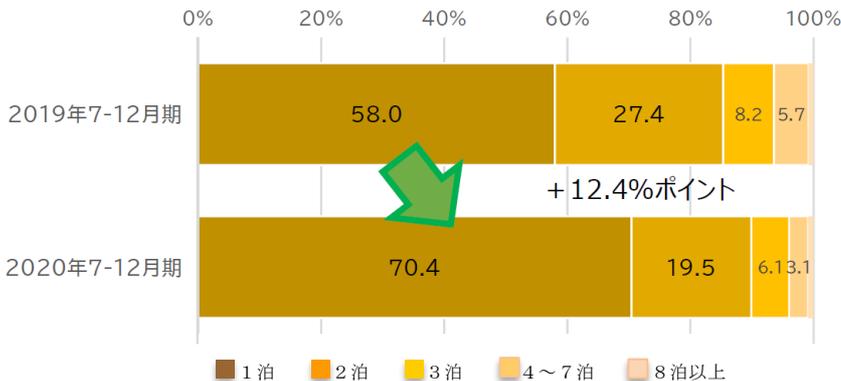
#### ○県内宿泊旅行者と県外宿泊旅行者の割合



#### ○同伴者の割合



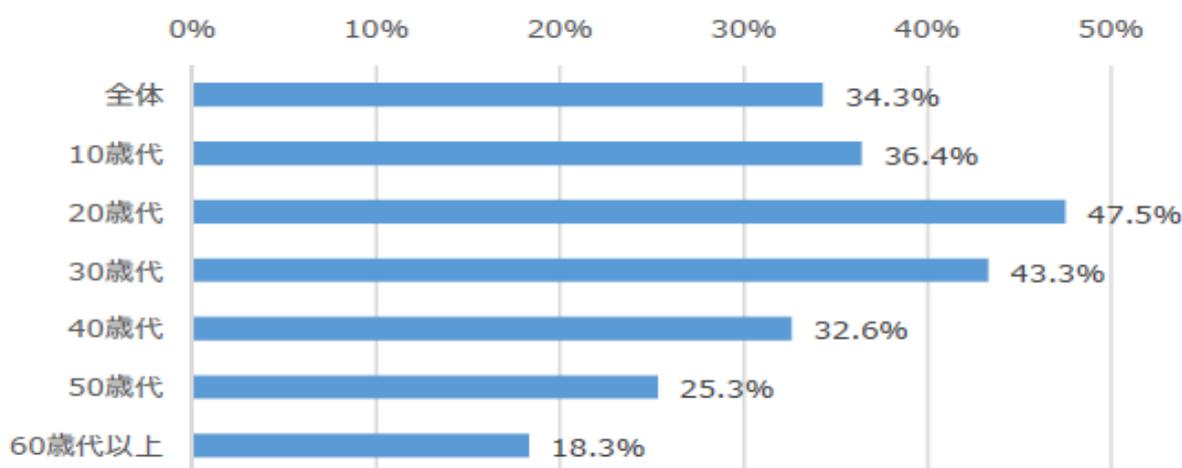
#### ○宿泊数



## (2) ワークेशनとアウトドア需要

働き方改革の一つのツールとして国も推奨していたテレワークが、新型コロナウイルス感染拡大とともに広く普及したことにより、ワークेशन（注）の実施を希望する人が増加しており、特に20歳代、30歳代の実施希望率が高いことが伺えます。ワークेशनによる地域振興に期待して、ワークेशन自治体協議会も設立されています。また、新型コロナウイルス感染症対策のため3密回避が求められる状況下において、キャンプなどのアウトドアへの需要が高まっています。

○年代別ワークेशन実施希望

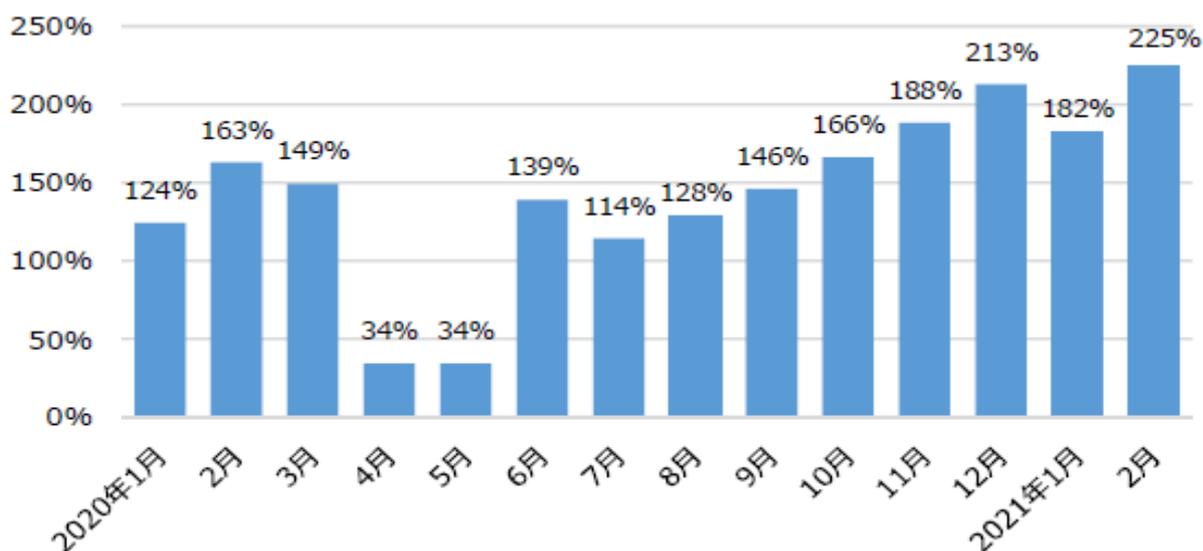


資料：内閣府 第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査

(注) ワークेशनとは、「ワーク」(労働)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語。観光地やリゾート地でテレワーク(リモートワーク)を活用し、働きながら休暇をとる過ごし方。在宅勤務やレンタルオフィスでのテレワークとは区別される。働き方改革と新型コロナウイルス感染症の流行に伴う「新しい日常」の奨励の一環として位置づけられる。

資料：フリー百科事典ウィキペディア

○キャンプ場1施設当たりの平均予約件数(前年同月比)



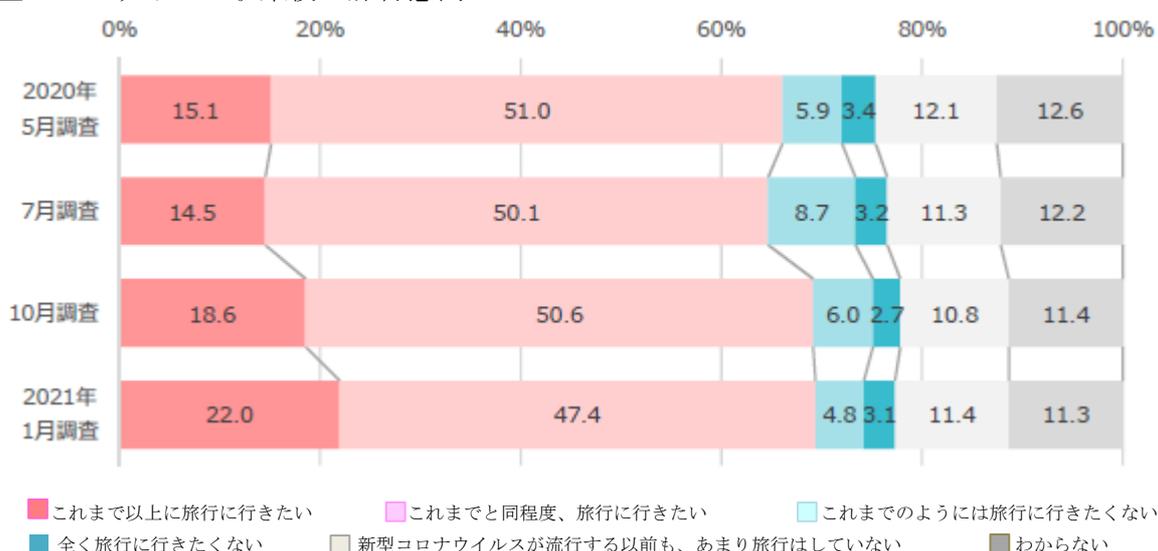
資料：キャンプ場検索・予約サイト「なっぷ」データ

### (3) 滞在型・分散型旅行とオンライン、収束後の意向

新型コロナウイルス感染拡大以降、有名観光地への物見遊山ではなく、一つの地域に滞在し、文化や暮らしを体感しじっくり楽しむ滞在型観光も、3密を回避する旅行スタイルとして定着しつつあります。ウィズコロナ時代における新しい旅のスタイルとして、感染リスク低減のため時間と場所を分散する分散型旅行を旅行会社や交通事業者が連携して促進しています。また、実際に訪問することが難しいときに、家に居ながら楽しめるオンラインツアーも普及しつつあり、訪問意欲の向上に加え、地域特産品の販売促進にも貢献しています。

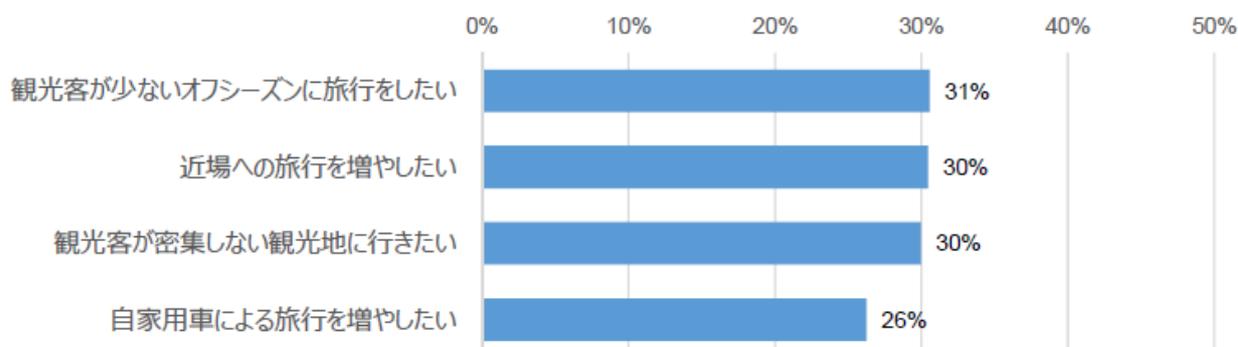
コロナ収束後の旅行意向として、2020年7月以降、「これまで以上に旅行に行きたい」との割合が増加しており、特に10代から30代の若者の旅行意向が強い傾向にあります。今後の国内旅行の移行としては「オフシーズン」「近場」「密集しない観光地」「自家用車利用」等、新型コロナウイルスの感染予防を重視する傾向にあります。

#### ○新型コロナウイルス収束後の旅行意向



資料：J T B F 旅行実態調査（2020年5月、7月、10月、2021年1月）

#### ○今後の国内旅行についての考え



資料：J T B F 国内旅行市場におけるオピニオンリーダー層の意向調査（2020年12月）

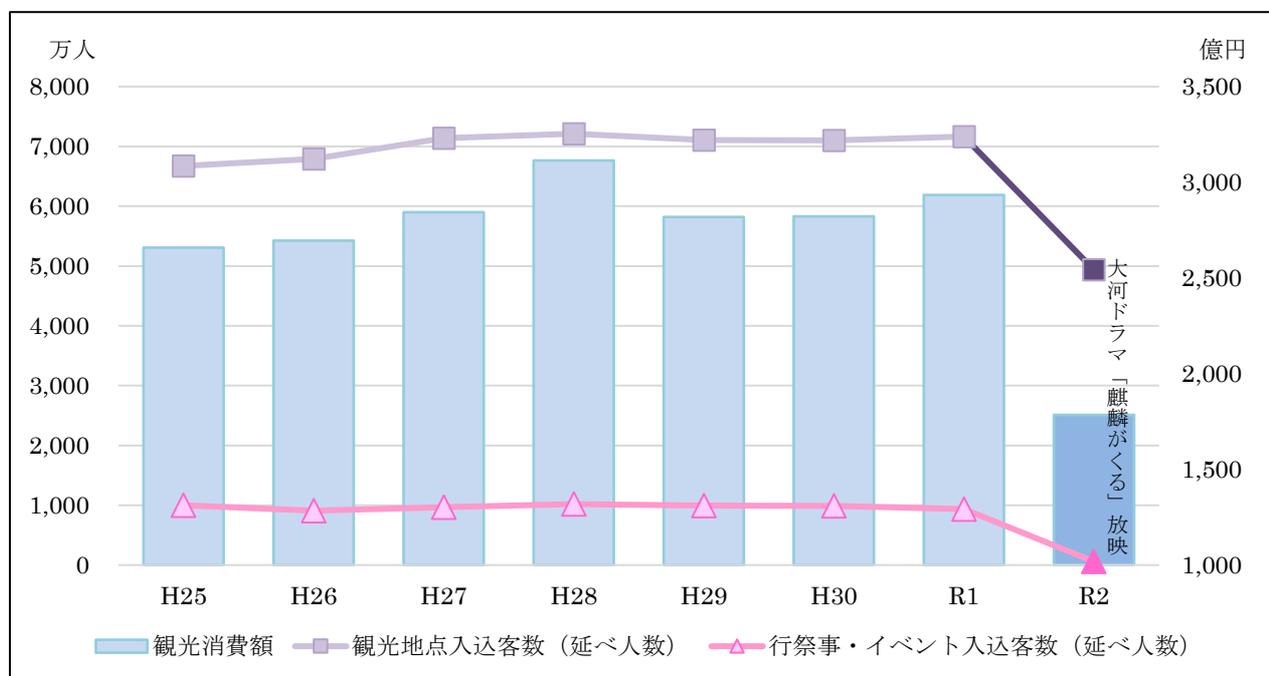
### 3-3. 岐阜県の観光統計

#### (1) 観光入込客数・観光消費額

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光入込客数は約4,935万7千人（延べ）で対前年比△31.1%、また、行祭事・イベント入込客数も57万7千人（延べ）で対前年比△93.8%と大きく減少し、これにより観光消費額も大幅に減少しました。

令和元年（平成31年）に過去最高を記録した外国人延べ宿泊者数は、対前年比△82.6%となりました。（166.0万人→29.0万人）

観光入込客数（延べ）と観光消費額の推移



区 分		R2<2020>年(対前年比)	参考:R1<2019>年
観光入込客数(延べ人数)		4,935万7千人 (△31.1%)	7,162万8千人
行祭事・イベント入込客数(延べ人数)		57万7千人 (△93.8%)	934万4千人
観光消費額	全 体	1,784億51百万円 (△39.2%)	2,932億83百万円
	日帰り客	950億94百万円 (△34.9%)	1,461億33百万円
	宿 泊 客	833億56百万円 (△43.4%)	1,471億50百万円

資料：令和2年岐阜県観光入込客調査

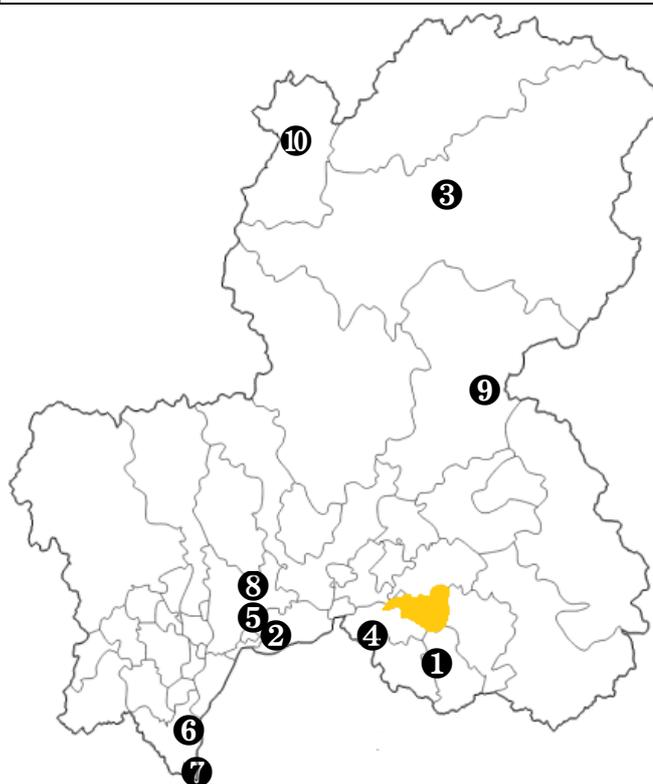
## (2) 主要観光地点（県内トップ 10）

岐阜県内の主要観光地のトップ3は前年同様で、コロナ禍においても一番入込客数が多かったのは、御嵩町から車で約25分程度と近接している「土岐プレミアム・アウトレット」の510万8千人で対前年比23.6%の減、「河川環境楽園（アクア・トトぎふを含む）」は39.0%の減、「高山市街地エリア」は58.2%の減となるなど、県内の主要観光地点における観光入込客数（延べ人数）は軒並み減少しました。

また、令和2年7月豪雨災害の影響による主要道路の通行止めも、観光入込客数の減少の一因となりました。

(単位；万人)

順位	観光地点名	入込客数	参考；R1 [2019] 年	
			順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	510.8	1	668.3
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	291.1	2	477.5
3	高山市街地エリア	159.8	3	382.7
4	湯の華アイランド（可児市）	143.5	5	168.5
5	伊奈波神社（岐阜市）	138.2	7	147.5
6	千代保稲荷神社（海津市）	128.6	6	160.6
7	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	99.4	9	136.4
8	岐阜公園	80.1	11	102.2
9	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	72.1	10	122.5
10	白川郷合掌造り集落	67.0	4	203.1



資料：令和2年岐阜県観光入込客調査

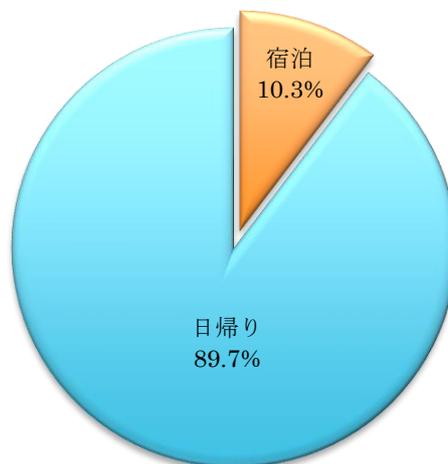
### (3) 日帰り・宿泊別観光入込客数

令和2年の県内の日帰り・宿泊別入込客数は、宿泊客約356万3千人(△42.3%)に対し、日帰り客が約3,094万8千人(△26.0%)と依然として日帰り客の方が多い状況にあります。宿泊客の中で外国人は約13万2千人と前年から88.7%の減少となっています。

<観光入込客数(実人数)>

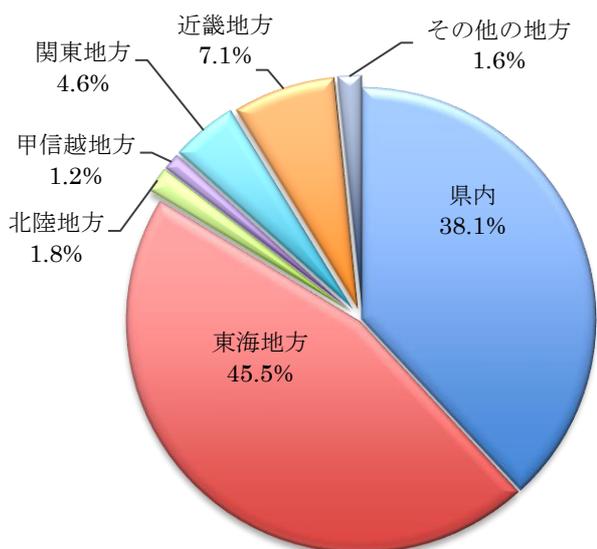
区分	R2 [2020] 年(対前年比)	参考R1 [2019] 年
全体	3,451万1千人(△28.1%)	4,799万5千人
日帰り客	3,094万8千人(△26.0%)	4,182万人
宿泊客	356万3千人(△42.3%)	617万5千人
【うち外国人】	【13万2千人(△88.7%)】	【116万7千人】

※宿泊客の「うち外国人」については、観光庁の宿泊統計調査における本県の外国人延べ宿泊者数をもとに算出している。  
(令和2年外国人延べ宿泊者数 29.0万人)



### (4) 居住地別観光入込客数

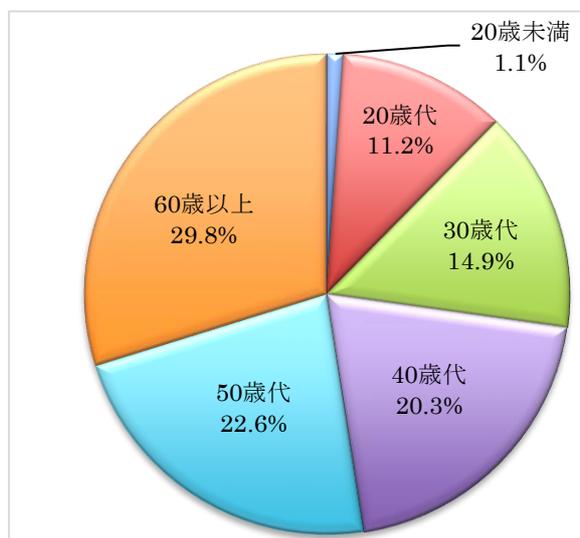
居住地別入込客数は、圧倒的に県内と東海地方が多く、合計で83.6%と大半を占めています。新型コロナウイルス感染症発生前は、県外からの割合が増加傾向にありましたが、コロナ禍における行動制限等の影響もあり、大きく減少しました。



### (5) 年齢別観光入込客数

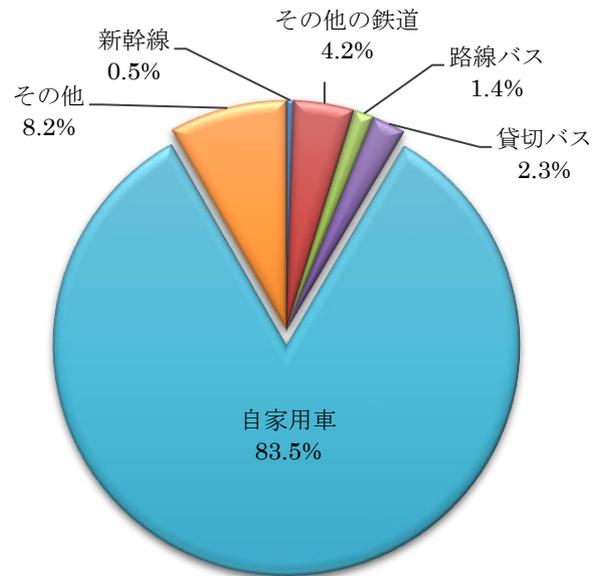
年齢別入込客数は、50歳以上の層が半数以上で、その次に40歳、30歳代とつづいています。

男女別の内訳で見ると、男性が2,100万4千人(構成比60.9%)、女性は1,350万7千人(構成比39.1%)と男性が多い状況でした。



## (6) 交通機関別観光入込客数

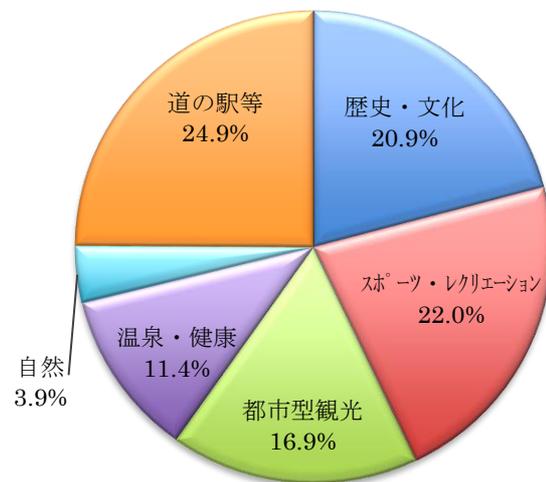
交通機関別の観光入込客数は、自家用車が圧倒的に多く、全体の83.5%を占め、鉄道やバスなどの公共交通機関の割合は低い状況です。



## (7) 観光地分類別観光入込客数

観光地分類別の入込客数は、「道の駅等」「スポーツ・レクリエーション」「歴史・文化」の順に多く、以下「都市型観光」「温泉・健康」「自然」の順となっています。

例年「歴史・文化」の割合が「スポーツ・レクリエーション」より高い状況でしたが、令和2年は逆転しています。



### ■観光地分類

自然	山岳、高原、湖沼、河川、海岸、島、その他自然（エコツーリズム、グリーンツーリズム等）
歴史・文化	史跡、城、神社・仏閣、庭園、歴史的まち並み、旧街道、博物館、美術館、記念・資料館、動・植物園、水族館、産業観光、歴史的建造物、その他歴史
温泉・健康	温泉地、その他温泉・健康
スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設、スキー場、キャンプ場、釣り場、海水浴場、マリナー・ヨットハーバー、公園、レジャーランド・遊園地、テーマパーク、その他スポーツ・レクリエーション
都市型観光 -買物・食事-	商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光—買物・食等—（農水産品の直売所、物産館等）
道の駅等	他に分類されない観光地点（道の駅、パーキングエリア等）

資料：令和2年岐阜県観光入込客統計調査

## 4. 現状調査

### 4-1. 位置

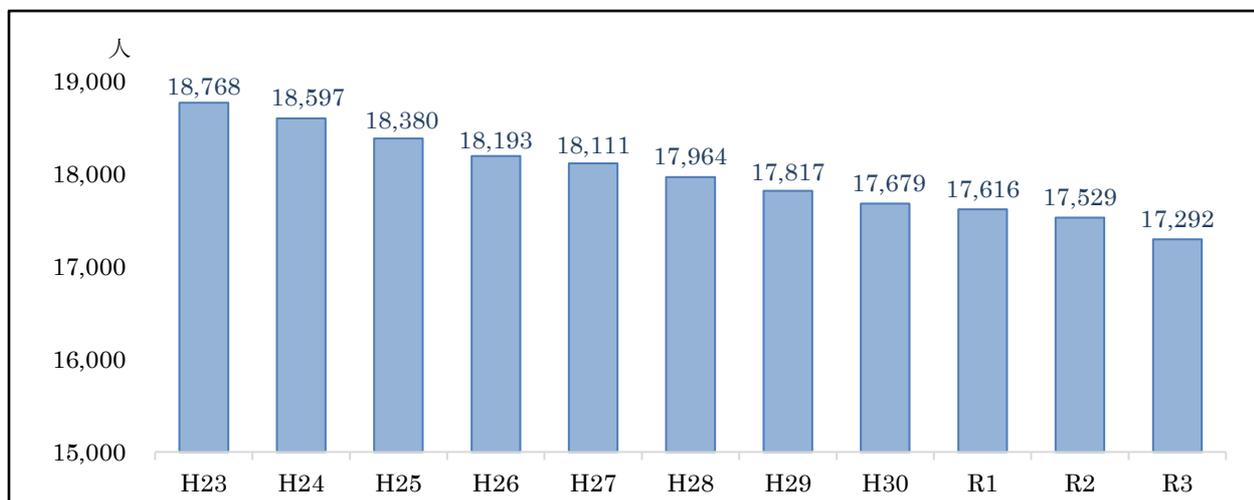
御嵩町は、東海地方の拠点都市である名古屋市から電車・車で1時間程度と良好なアクセスを持つ位置にあります。



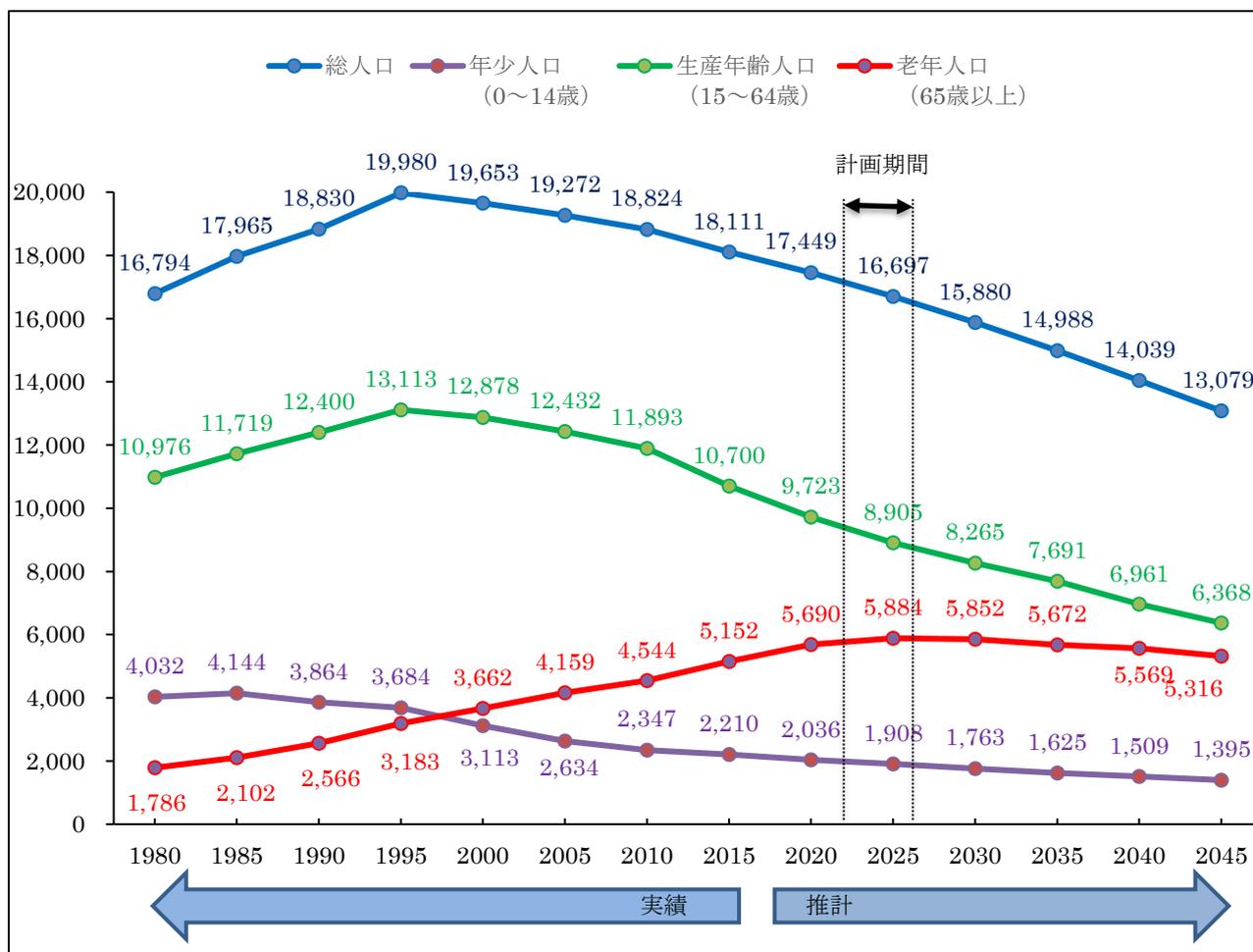
地図：google

## 4-2. 人口推移

本町の人口は、平成7年（1995年）の19,980人をピークに減少傾向にあります。年齢別の人口を見ると、年少・生産年齢人口が減少、老年人口が増加傾向にあります。将来の人口推移を見ると、人口減少と高齢化、年少・生産年齢人口の減少がさらに進んでいく状況となっています。



資料：岐阜県動態統計調査

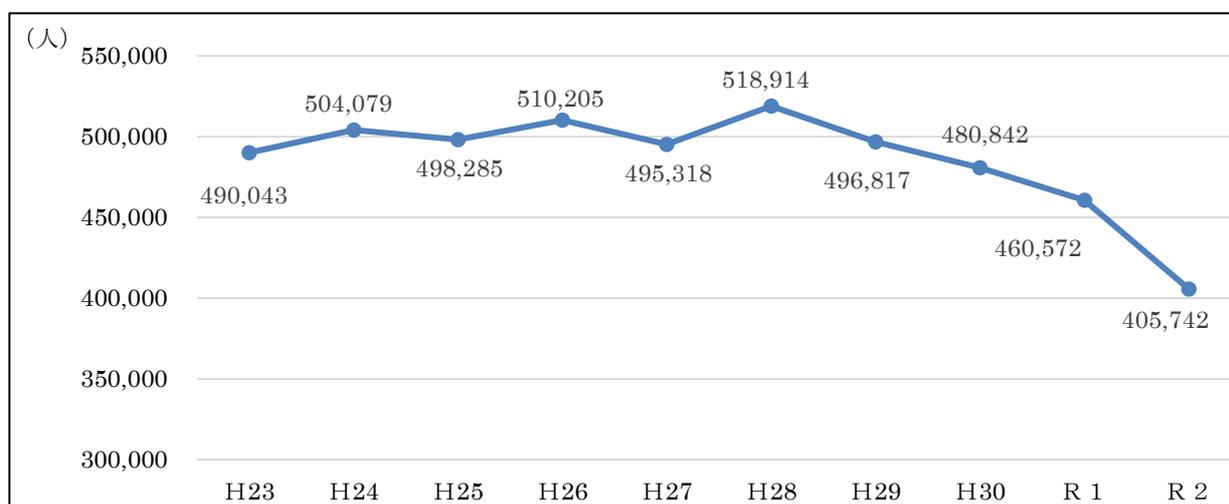


資料：地域経済分析システム RESAS

## 4-3 観光客数

施設別の観光客数を見てみると、施設内で完結することが多いゴルフ場の利用者が半数以上を占め、その他ではイベントや日帰りなどの来訪客数が多い状況です。観光の産業化に向けては、消費額の高い滞在型の顧客の誘致など、入込客数に加え売上・利益ベースの目標設定が必要です。令和2年度の観光客数は、「鬼の一刀岩」が新たな観光目的の一つとなり、鬼岩公園の来場者が大きく増加しましたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の休館や各種イベントの中止、全国的な行動の制限等により大きく減少しました。今後は、コロナ収束を見据え、新たな観光資源の活用や観光コンテンツの造成など誘客活動の展開を講じる必要があります。

### ○御嵩町の観光客数の推移



### ○施設別の観光客数

(単位：人)

No.	観光地点	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	鬼岩公園	23,500	22,700	22,500	22,500	43,076
2	みたけの森	47,310	26,547	23,538	18,378	17,639
3	ゴルフ場（全施設合計）	339,085	329,927	328,901	321,486	309,971
4	海洋センター	35,979	33,432	30,880	26,424	11,184
5	中山道みたけ館	59,340	64,211	55,023	51,784	23,872
6	御嵩町薬師祭礼	4,200	5,000	5,000	5,000	0
7	よってりゃあみたけ	10,000	15,000	15,000	15,000	0
	<b>合計</b>	<b>518,914</b>	<b>496,817</b>	<b>480,842</b>	<b>460,572</b>	<b>405,742</b>

資料：観光地点入込客調査

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、公共施設の休館や集客イベントを中止した。

## 4-4 外国人観光客

### WALK JAPAN の状況

京都～東京間の中山道を 11 日間で歩き中心で巡る高級ツアー「WALK JAPAN」の行程に御嵩町の中山道が入り、欧米を中心とする比較的富裕層の外国人観光客が訪れています。平成 27 年度の御嶽宿わいわい館外国人来訪客数が 250 人であったのに対し、令和元年度は 436 人と年々増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年より実施できない状況が続いています。

ツアーの行程は関ヶ原より昼前に電車で御嵩駅に到着し、その後中山道を歩いて細久手宿で宿泊する行程となっており、ツアーの早期再開が待たれるとともに、御嵩町内で金銭消費をしてもらえる施策の検討が必要です。



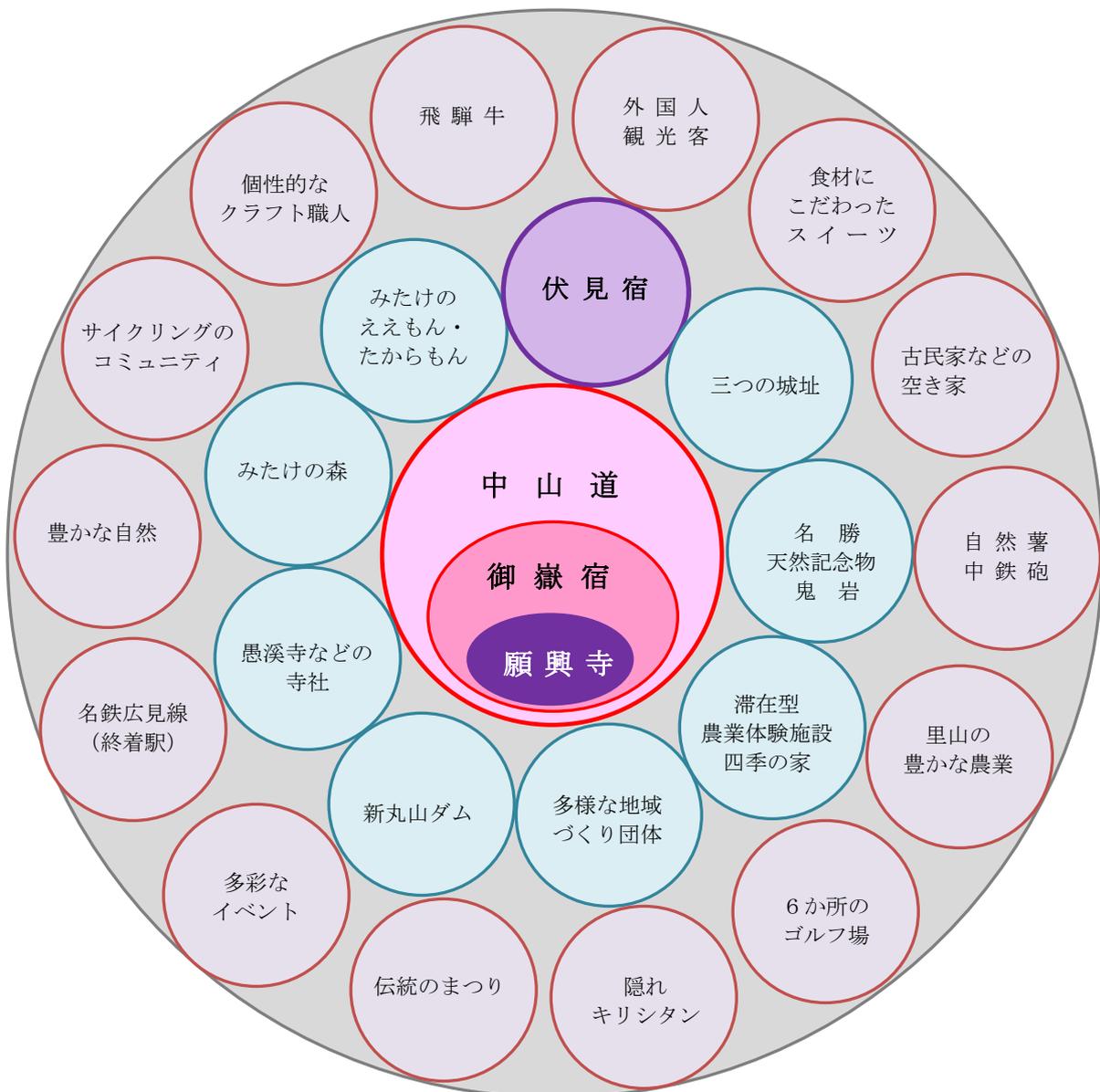
「WALK JAPAN」中山道コース	
10 泊 11 日	
1 日目：京都（徒歩なし／ホテル泊／夕食付）	
2 日目：京都-彦根-関ヶ原（徒歩 8km／旅館泊／朝夕食付）	
3 日目：関ヶ原-御嶽-細久手（徒歩 12km／旅館泊／朝昼夕食付）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名鉄広見線で御嵩駅へ</li> <li>・御嶽宿より、古道である中山道の雰囲気を感じる石畳や神社のある山道を、次の宿場の細久手宿まで歩く</li> <li>・途中の茶屋で麺類や水分補給を提供</li> <li>・細久手宿の歴史ある旅館「大黒屋」に宿泊</li> </ul>
4 日目：細久手-恵那（徒歩 22km／ホテル泊／朝夕食付）	
5 日目：恵那-馬籠（徒歩 18km／旅館宿泊／朝夕食付）	
6 日目：馬籠-妻籠（徒歩 10km／旅館宿泊／朝夕食付）	
7 日目：妻籠-木曾福島（徒歩 24km／旅館宿泊／朝夕食付）	
8 日目：木曾福島-開田高原（徒歩 14km／旅館宿泊／朝昼夕食付）	
9 日目：開田高原-奈良井-軽井沢（徒歩 11km／旅館宿泊／朝夕食付）	
10 日目：軽井沢-東京（徒歩 16km／ホテル宿泊／朝夕食付）	
11 日目：東京（徒歩なし／朝食付）	

資料：WALK JAPAN HP (<https://www.walkjapan.com/tour/nakasendo-way/>)

## 5. 地域資源

### 5-1. 地域資源

御嵩町は、古くは町の東西を横断する中山道の歴史文化とともに発展し、多くの地域資源を有しています。一方で、これらの資源は散在していることから、観光地としてのまとまり（統一イメージ）やストーリーが十分に形成されていない状況といえます。これら散在する地域資源を下記の概念図にまとめたところ、やはり御嵩町の地域資源の軸は、日本の代表的な古道である中山道と御嶽宿、そして御嶽宿の一角にあり国重要文化財の本堂改修が進む願興寺といえます。この軸をもとに、散在する地域資源をどのように連動させていくかが重要な鍵となります。



## 5-2. 地区別特性

現況調査や地域資源分布に基づいて、地区別特性を下記のようにまとめました。中山道を町の骨格とし、様々な特徴あるエリアが点在しています。今後の効果的な施策検討にむけては、エリア毎の特徴を生かすことや、施設等の整備にあたっては優先順位をつけて進めていく必要があります。



地図：google マップを編集



小原城址



御嵩城址



顔戸城址



愚溪寺

## 5-3. 既存イベント

---

御嵩町では、下記のとおり、年間を通じて中山道の歴史や自然を楽しむ様々なイベントが開催されています。

### 御嵩町の年間イベントスケジュール

2月中旬

#### 御嶽宿・伏見宿のひなまつり

3月中旬

「御嶽宿」「伏見宿」界隈の協力店舗等にお雛様が飾られます。華やかな街道は必見。

4月

#### 御嵩薬師祭礼

第1日曜

千年を超える歴史をもつ御嵩町の代表的なお祭り。岐阜県重要無形民俗文化財指定。

5月下旬

#### みたけの森 花あるき

6月中旬

可憐な「ささゆり」が皆様をお出迎え。

6月上旬

#### みたけの森 ささゆりまつり

出店や楽しいイベントがいっぱい。マスのつかみ取りは子供に大人気。

8月上旬

#### よってりゃあ みたけ ～夢いろ街道宿場まつり～

みたけの夏を彩るビッグイベント。夜店や盆踊りを楽しんだ後は夢花火で締めくくり。

11月上旬

#### 中山道往来 ～なかせんどう うおーく～

「御嶽宿～細久手宿」11.8kmをウォーキング。街道沿いにはおもてなしがいっぱい。

2月

#### 鬼岩 福おにまつり

第1日曜

「鬼はうち」のめずらしい掛け声がこだまする。バサラ踊りや鬼の円舞は必見。

毎月

#### 御嶽宿 宿の市

第1日曜

さんさん広場での出店とステージイベントでおもてなし。新たな発見があるかも。

毎月

#### さんさん広場 エコビアガーデン

第3金曜

広見線存続を願いスタートしたビアガーデン。電車で来ればちょっとお得。

4月～11月

#### 鬼岩 岩穴くぐり (要予約)

土・日限定

巨岩の間をくぐり抜けるスリリングさは、日本でもここだけ。

## 5-4. 特産品

特産品においては、平成24年度から御嵩町を代表する特産品の認定制度「みたけのええもん」がスタートし、飲食物を中心に認定品目を増やしてきましたが、令和2年度からは工芸品等を「みたけのたからもん」として認定する制度を追加しました。

現在、26品目の飲食物と4品目の工芸品を認定しており、今後も商品価値の高い特産品の開発を推奨するとともに、購買に結び付く取組みを継続していきます。

みたけのええもん（御嵩町特産品認定制度）

No	商品名	特 色	問合せ先
1	みたけ華ずし	御嶽宿の歴史や自然を表現した寿司	みたけ華ずしの会
2	ぽっこり緑茶	上之郷中学校の生徒が栽培する「舂五山（へごやま）茶」を使ったクッキー	あゆみ館
3	御嵩道中焼おむすび	すべて御嵩の素材でつくられたおむすび	喫茶ぽっかぽか
4	やまいもん大福	東濃実業高生が開発し地元和菓子店「長春堂」と連携してつくった山芋を使った大福	岐阜県立東濃実業高等学校
5	みたけ味噌	農家が地元産の素材を使用して米麹から手づくりでつくる味噌	御嵩町農家生活改善グループ
6	元祖みたけとんちゃん	亜炭坑で働いていた人が食べていた、みたけ味噌をつかった豚ホルモン焼き	みたけとんちゃん 発展会
7	みたけからあげ	とりむね肉をみたけ味噌を使って味付けしたからあげ	みたけとんちゃん 発展会
8	ごへだ味噌	みたけ味噌にゴマなどを加えた味噌	御嵩町農家生活改善 グループ
9	栗すだれ	地元産の栗を使用した棒状の栗きんとんを柔らかい羽二重餅で巻いたお菓子	御菓子処 長春堂
10	舂五山茶やまいもん大福	やまいもん大福の求肥と白餡に舂五山茶を練りこんだ大福	岐阜県立東濃実業 高等学校
11	美佐野の中鉄砲きな粉	近郊で栽培の大豆「中鉄砲」のきな粉	可児かまど本店
12	鬼岩梅酒	国産梅を原料にして鬼岩公園内の施設で熟成させた梅酒	鬼岩湯元館
13	たんこうショコラ	日本の産業を支えるため産出した亜炭をイメージしたクランチチョコレート	(株)トイ・ファーム
14	伏見宿 こなもん屋の五平餅	みたけ米とみたけ味噌で焼き上げた手作り五平餅	こなもん屋
15	へごやまラングドシャ	生地とチョコレートに舂五山茶を混ぜ込み薄く焼いたお菓子	Patisserie LAND

No	商品名	特 色	問合せ先
16	笹クッキー	笹の才蔵の異名を持つ可児才蔵の笹をモチーフにしたクッキー	Pâtisserie LAND
17	中鉄砲げんこつ飴	中鉄砲きな粉でつくったげんこつ飴	可児かまど本店
18	才蔵どら	可児才蔵にちなんで笹の家紋を押したバターどら焼き	御菓子処 長春堂
19	中山道石畳おこし	みたけ米をポン菓子にして謡坂の石畳を表現したおこし	Pâtisserie LAND
20	御嵩柚子なんばん	県内産の柚子や青唐辛子など無農薬材料を使用した手作り柚子胡椒	みたけさいとう商店
21	<u>手づくりの木のもの</u>	使いやすく口当たりの良いスプーンなどの木工品	みたけさいとう商店
22	<u>オールドファッションバッグ</u>	良質のレザーのみを使用し、一人の職人が一貫制作した鞆	木村裕三 Hand made bag
23	<u>紅白の酒器</u>	透明度、使い勝手、口当たりにこだわった御嵩産のガラス酒器	glass studio 三日月
24	まんまる五平餅	みたけ米、みたけ味噌を使った団子型の五平餅	まんまる五平餅
25	みたけ育ちの極生焼肉味噌	みたけ味噌を主原料にニンニク、すりごま、唐辛子、花椒等を調合した焼肉味噌	重田ゼネラルフード(株)
26	柚子なんばんじゃない醬(ジャン)	御嵩柚子なんばんに、県産米麴としょうゆを加え発酵させた醤油麴	みたけさいとう商店
27	舳五山茶	昭和 30 年から代々引き継がれてきた茶園で、上之郷中学校の生徒と地域の皆さんが栽培する無農薬緑茶	御嵩町立上之郷 中学校
28	みそマロランタン	東濃実業高生とラ プロヴァンスとが連携し、みたけ味噌と可茂地区産の栗を使って創作した焼き菓子	岐阜県立東濃実業 高等学校
29	プロヴァンスオリジナルハーブティー	プロヴァンスの庭園で育てた無農薬ハーブを使用したドライハーブティー	ラ プロヴァンス
30	<u>打刃物</u>	昔ながらの製法により一本一本手作りで仕上げる本格的刃物	打刃物 元治
<b>その他の特産品</b>			
1	中鉄砲	美佐野地区のみで生産される大豆で栽培が難しいが味が濃厚	
2	謡坂じねんじょ	謡坂(うとうざか)地区で栽培される自然薯	

※ 下線は、みたけのたからもん(工芸品)認定商品

## 5-5. 名鉄広見線

名古屋鉄道は、御嵩町と名古屋市などの他地域を結ぶ鉄道路線であり、地域住民だけでなく観光客のひとつの重要な公共交通手段となっており、貴重な地域資源となっています。

### (1) 路線

名鉄広見線は、名鉄犬山駅から新可児駅を経て御嵩駅までを結ぶ名古屋鉄道の鉄道路線です。新可児で乗り換えた後の、新可児駅～御嵩駅間の5つの駅のうち、御嵩町内には3つの駅があり、御嵩駅は終着駅となっています。新可児駅～御嵩駅間の所要時間は11分。朝6時前頃の始発から23時半頃の終電まで、約30分毎に運行しています。



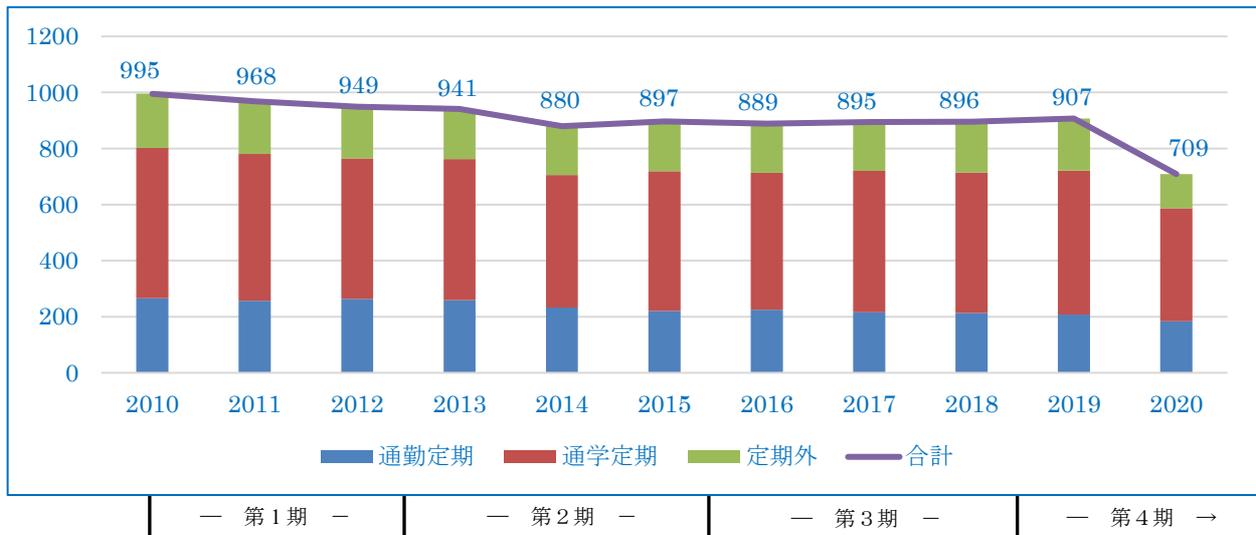
地図：google



## (2) 利用状況

第1期当初の平成22年度（2010年度）の年間利用者数は995千人でしたが、第2期中間年の平成26年度（2014年度）の880千人となって以降、年間利用者は横ばい傾向で推移してきました。利用者の半数以上は通学定期の利用者が占めている状況に変わりはありませんが、令和2年度（2020年度）以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者全体が大きく減少しており、令和3年度（2021年度）までの3か年計画のすべての目標の達成は大変厳しい状況にあります。

○名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用者推移



○名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の輸送密度の推移

(単位：千人/年、人/日)

種別	年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年比	2010年度比
輸送人員 (千人/年)	通勤	266	258	264	259	233	221	225	216	214	208	184	▲11.5%	▲30.8%
	通学	536	524	501	504	472	498	488	504	501	513	403	▲21.4%	▲24.8%
	定期計	802	782	765	763	705	719	713	720	715	721	587	▲18.6%	▲26.8%
	定期外	193	186	184	178	175	178	176	175	181	186	122	▲34.4%	▲36.8%
	合計	995	968	949	941	880	897	889	895	896	907	709	▲21.8%	▲28.7%
輸送密度 (人/日)		2,122	2,065	2,007	2,012	1,891	1,922	1,904	1,904	1,887	1,925	1,531	▲20.5%	▲27.9%

※輸送密度：1日1km当たりの平均輸送量

○駅別一日平均乗降人員の推移

(単位：人/日、%)

駅名	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年比	2010年度比
新可児	4,866	4,763	4,878	4,988	4,890	5,038	5,041	5,148	5,263	5,296	3,898	▲26.4%	▲19.9%
うち御嵩方面	901	899	883	854	822	856	880	937	986	1,029	848	▲17.6%	▲5.9%
明智	1,006	946	968	924	837	854	860	897	937	914	667	▲27.0%	▲33.7%
顔戸	177	186	187	184	182	192	193	190	181	180	147	▲18.3%	▲16.9%
御嵩口	320	330	331	336	297	288	266	263	261	264	221	▲16.3%	▲30.9%
御嵩	1,378	1,322	1,281	1,311	1,250	1,271	1,270	1,255	1,232	1,280	1,012	▲20.9%	▲26.6%

資料：名鉄広見線活性化協議会資料

### (3) 沿線活性化

御嵩町、可児市、八百津町の3市町を中心に名鉄広見線活性化協議会を設立し、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の沿線活性化に取り組んでいます。その中で作成されている「名鉄広見線活性化計画」の平成31年度～令和3年度の3カ年計画によると、利用者の拡大に向けて3つの目標・数値目標、目標達成のための施策が設定されています。計画の中では、沿線地域の観光施設等の年間利用者数を110万人以上としていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度以降の乗降者数が激減したことから計画年度を令和4年度まで延長し、利用者の増加に向けた取組を展開するとともに、次期協定締結のための協議を行うこととなりました。

#### 【3つの目標と目標値】

##### ①地域外からの利用を増加させる。

公共交通と地域の資源を利活用し、誘客のための魅力づくり、イベント開催、PRなどを行い、利用者を増加させ、地域の活性化を図る。

⇒ 目標値：沿線地域の観光施設等の年間利用者数 110万人以上

\*可児ッテ・花フェスタ記念公園・大河ドラマ館・みたけの森・鬼岩公園・中山道みたけ館・人道の丘公園の年間利用者数。次期活性化計画の検討を2021年に行うため、2020年の数値を目標値とする。

##### ②地域内の利用促進を図る。

継続的な利用が見込める地域内利用者に対し、様々な補助を行うことで利用を促進し、各団体においても補助制度の周知等連携して取組むことで、広見線の活性化を目指すものです。

⇒ 目標値：回数券等のカウント数 12,250カウント以上

\*カウント数・・・利用乗車券数

##### ③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める。

各市町の地域公共交通網形成計画の実施等により、公共交通ネットワークの1つである名鉄広見線の利用機会や関心が増え、又は意識啓発活動によって、必要な社会インフラであるという認識が高まる。

⇒ 目標値：名鉄広見線が存在する価値を重要と思う人の割合 70%以上



# 事業計画施策一覧

No	事業名	※ 施策主要 分類	実施主体						事業年度			
			3 市 町	議 会	教 育	商 工	観 光	住 民	R 1 ( H 3 1 )	R 2	R 3	R 4
1	名鉄広見線活性化地域連携観光PR事業	①	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○
2	イベント等魅力アップ事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	地域資源ブラッシュアップ・情報発信事業	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
4	インバウンド対応事業	①	-	-	○	○	○	-	○	○	○	○
5	地域観光資源等連携観光事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○
6	戦国武将活用事業	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
7	電車利用来訪者特典事業	①	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○
8	駅舎等活用事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○
9	地域公共交通情報連携事業	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
10	沿線活性化情報発信事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	活性化協議会イベント事業	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
12	イベント事業補助制度	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
13	高校の魅力向上・地域連携事業	①	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○
14	利用プラスワン運動	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	駐車場・駐輪場整備事業	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
16	ノーマイカーデーの実施	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
18	YAOバス等団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
19	回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
20	定期券通勤通学者応援制度	②	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○
21	運転免許証自主返納者回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
22	地域の魅力発信などを考える会の開催	③	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
23	楽しい交通環境教育（モビリティ・マネジメント教育）事業	③	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○

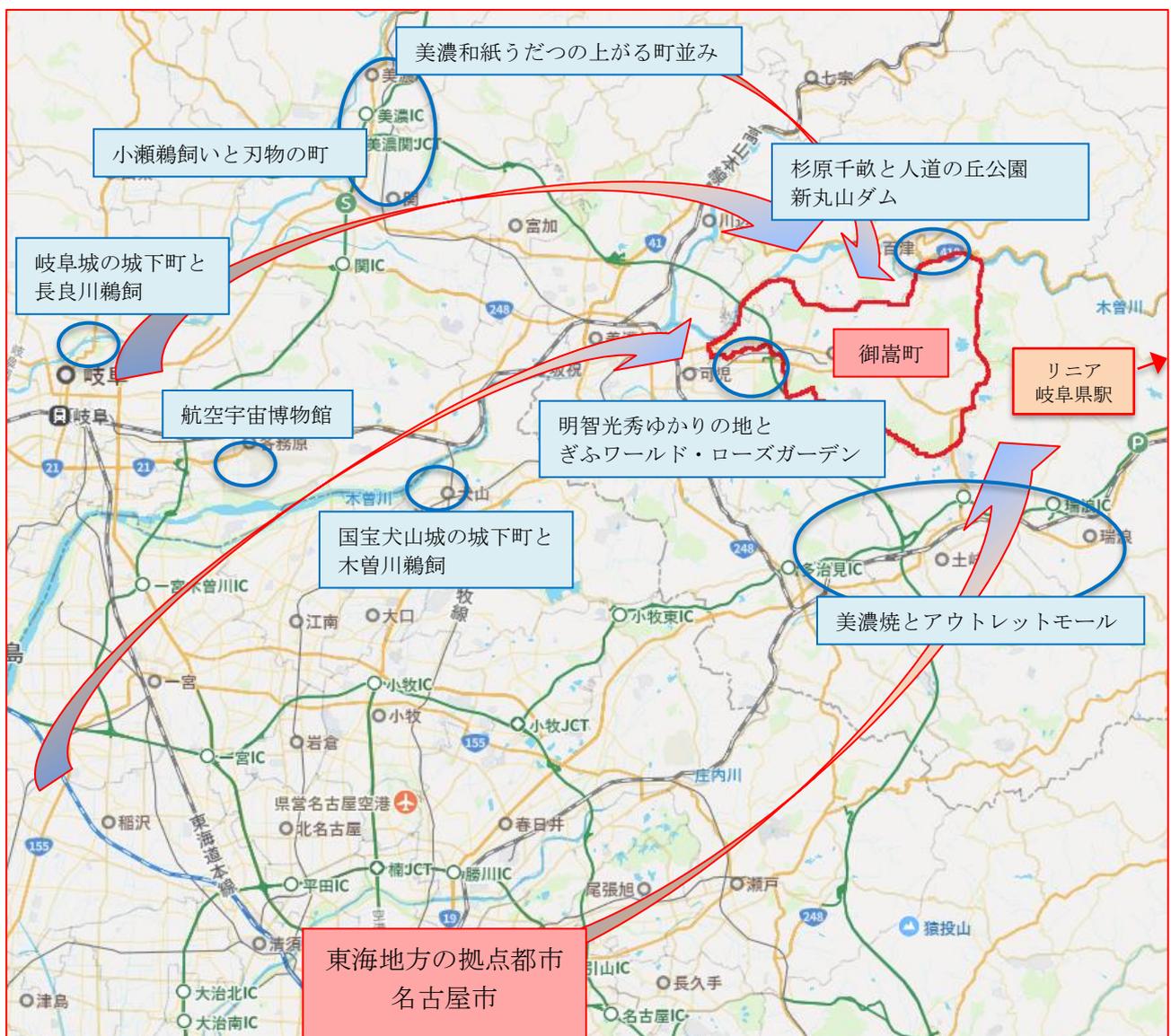
※ ①地域外からの利用を増加させる ②地域内の利用の促進を図る ③地域にとって必要なインフラである認識を高める  
 ※ ○は、令和4年度に向けて今後の啓発活動を活発に実施していくため、実施主体として追加した。

資料：名鉄広見線活性化計画



## 5-6. 広域観光圏

御嵩町は、東海地方の拠点都市である名古屋市から良好なアクセスを持つ位置にあり、リニア中央新幹線が開通すると、岐阜県駅の予定地（中津川市）から車で約50分の位置です。広域で見ると周辺には国宝犬山城や県内一の集客を集める土岐プレミアム・アウトレット、隣接する可児市には世界最大級のバラ園といわれるぎふワールド・ローズガーデンなど、周辺には魅力ある施設や観光エリアが多数点在しています。しかし、現在においてはこれらの地域との連動が少なく、周遊ルートなどの連動が必要な状況にあります。



Yahoo JAPAN 地図

## 6. 観光基本計画の検討に向けて

### 6-1. 現状・課題の整理と今後の方向性

計画の検討に向けて、これまでの現状調査の整理と検討の方向性を下記にまとめました。

計画策定の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光産業を日本の成長産業と位置付け、政府が積極的に推進するとともに、歴史的資源を活用した観光まちづくりを重要政策として進めている。</li> <li>総合計画など町の計画においても観光は重要要素として位置づけられている。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、第1期計画のメインターゲットとしていた訪日外国人観光客が激減していることから、見直しの必要性が生じた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症を機に、観光の在り方や人々の行動に変化が生じてきた。</li> </ul>	
市場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出や移動の制限により国内旅行者、外国人観光客とも大きく減少しており、回復までに時間を要する可能性が高い。</li> <li>外国人観光客は滞在日数も消費額も国内観光客より大きく、歴史体験に興味を持っていることから、コロナ収束を見据えた取組も進める必要がある。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ニューノーマル（新しい生活様式）が急速に浸透し、在宅勤務やテレワーク等、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速しつつある。</li> <li>Go Toトラベルをはじめ、旅行関連事業者や観光地の経済回復のための政策が展開されつつある。</li> </ul>	
現状調査・地域資源	御嵩町の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋から1時間程度の良好なアクセス。周辺に魅力的な観光地がある。</li> <li>日本の代表的な古道「中山道」とその宿場町の歴史・文化・空間が残る。</li> <li>周辺の豊かな里山や鬼岩温泉、鬼岩公園などの観光資源がある。</li> <li>町民の地域への愛情が強く、生活環境の満足度が高い。</li> <li>国の重要文化財 願興寺本堂の解体修復工事が令和8年度に完了予定。</li> <li>新たな観光名所との期待が高い新丸山ダムが令和11年度に完成予定。</li> </ul>
	御嵩町の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口の減少とともに高齢化、年少・生産人口の減少が進む。</li> <li>歴史文化や自然を活用した経済活動が未成熟。</li> <li>地域資源が分散し、観光地としての魅力やストーリーが明確でない。</li> <li>プレイヤーと成り得る若い世代に対する町の魅力の発信不足。</li> <li>地域資源をつなぐ地域内交通手段の不足と名鉄広見線の利用者減少。</li> </ul>



#### 計画検討の方向性

- ① 地域資源である中山道や御嶽宿を軸とした統一した観光戦略（コンセプト）の設定
- ② アフターコロナを見据えた明確な計画の方向性、顧客ターゲット、ポジショニング、目標数値（産業規模等）の設定
- ③ 具体的な計画推進施策の設定
- ④ 計画推進を担う実施体制の設定

## 7. 観光基本計画

### 7-1. 基本コンセプト

第2期御嵩町観光基本計画の基本コンセプトは、平成28年度に策定した観光基本計画（第1期）の方向性を踏襲し、下記のとおりとします。御嵩町の最大の観光資源である「中山道」を軸としながらも、数ある中山道の宿場町の中から御嵩町を観光客が選んで来訪していただくためには、令和8年度に大規模改修を終える願興寺の活用など「ほかにない突出した魅力づくり」が必要です。

新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の回復速度を推し測ることは困難な状況にありますが、基本コンセプトは「中山道の歴史文化と豊かな自然を体感できる宿場町」と定義し、景観などの観る観光の魅力だけでなく、伝統的な中山道の歴史文化の中に実際に暮らして（泊まって）よし、歩いてよし、体験してよしの「体感できる観光」の形成を目指します。

#### 【第2期御嵩町観光基本計画 基本コンセプト】

### 中山道の歴史文化と豊かな自然を体感できる宿場町

—暮らしてよし、歩いてよし、体験してよし。

時代を超えて日本の古道の暮らしを体現できる町—

東西に中山道が横断し、中山道とともに暮らしてきた御嵩町。

時代とともに変化しているが、その暮らしに脈々と残る中山道の歴史文化。

従来からの観る観光ではなく、体感できる観光へ。

中山道の暮らしや歴史文化に身を染め、それらを知ることによって未来を考える場となる。

それが御嵩町の目指す新しい観光の形です。



## 7-2. 顧客ターゲット

御嵩町観光基本計画（第1期）において、古道の歴史などに関心のある欧米等の外国人をメインターゲットとし、中山道の整備をはじめ御嶽宿界隈のWi-Fi環境等の整備を進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策により世界中の人々の移動が厳しく制限されたため、我が国を来訪する外国人観光客は激減しました。我が国においては、令和3年度からワクチン接種が始まりましたが、世界的な収束の兆しが見え、感染拡大以前の日常に戻るまでには期間も要すると推測できることから、本計画期間においては、東海圏の国内観光客、新型コロナウイルス感染症を機に広がりを見せているクリエイティブワーカー等及び地域住民をメインターゲットとし、コロナ収束後の訪日外国人観光客の増加を見据えつつ、古道の歴史などに関心のある欧米等の外国人観光客をサブターゲットに位置付け取組みを推進していきます。

ターゲット層の分類	ターゲット層の概要	御嵩町の利用イメージ例	休日／平日
<b>メインターゲット</b>			
国内（東海地方）観光客	名古屋など東海地方を中心とした国内観光客。若者から老年層までの夫婦やグループ。少し足を伸ばし日本の歴史文化をゆっくりと楽しみたいと考えている人々。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り～1泊</li> <li>・温泉旅館、四季の家</li> <li>・カフェ、飲食店</li> <li>・お土産店</li> <li>・食・工芸・自然体験</li> <li>・ウォーキング</li> </ul>	休日利用中心
クリエイティブワーカー及びテレワークに積極的な企業	東京や東海地方近郊に住むITやデザインなどのリモートワーク（在宅勤務）が可能なクリエイティブワーカー及びテレワークに積極的な企業。短期～長期で滞在し歴史ある街で仕事をしたいと考えている人々。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィス・シェアオフィス</li> <li>・合宿利用（長期滞在）</li> <li>・移住定住（シェアハウス等）</li> <li>・カフェ、飲食店</li> <li>・食料品店</li> </ul>	平日利用中心
地域住民	周辺地域に住む住民。中山道を中心とした歴史資源は地域の誇りであり、昔のようにもっと賑わって豊かで暮らしやすい街になって欲しいと考えている人々。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住</li> <li>・職場</li> <li>・食料品店</li> <li>・カフェ、飲食店</li> </ul>	[日常] 平日利用  [レジャー] 休日利用
<b>サブターゲット</b>			
外国人（欧米等）観光客	名古屋市から一足伸ばすか、昇龍道や周辺の観光地などに移動する途中の外国人観光客。日本の古道や歴史文化に深く触れたいと考えている人。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2泊</li> <li>・温泉旅館、四季の家</li> <li>・カフェ、飲食店</li> <li>・宿場町でのアクティビティ（日本的体験）</li> <li>・中山道ウォーキング</li> </ul>	平日中心



## 7-4. 将来の目標設定

第2期御嵩町観光基本計画の目標設定においては、新型コロナウイルス感染症対策による影響期間が見通せないところはありますが、順調なワクチン接種と治療に有効な経口薬の開発、承認など、国内の感染拡大が収束方向に向かうとの期待のもと、新たな事業やイベント等の企画にあたっては観光客数（入込客数）の指標とともに、町民の経済や暮らしへの波及効果を重視して設定します。

### 【目標設定の考え方】

### 観光客数から町内の経済・暮らしへの波及効果へ

将来の目標設定は、観光客数だけではなく、みただけの価値を感じることで一定の方に来訪、滞在してもらい、少人数ながら豊かな自然と歴史文化を体験する観光スタイルとし、観光で生み出す経済波及効果も意識した目標設定をする。

### 【現 状】

観光客数（R2）  
約40万5千人

### 【5年後の目標（令和8年度時点）】

#### ● 経 済

・観光が一つの産業として確立され、経済が活性化し収益の増加につなげる。

顧客：歴史文化・自然を楽しむ日帰り客及び宿泊客

客数：年間25,000人の増加を目標とする

・日帰客 年間16,000人（45人/日） @5,000円/人

・宿泊客 年間9,000人（25人/日） @30,000円/人

市場：約3.5億円/年

#### ● 暮らし

・御嵩の歴史文化・自然が守られ、町民が誇りを持って暮らすことができている。

#### ※上位計画との比較

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により令和元年の46万人から大きく減少し、令和3年は更に大きな影響が想定されるが、各種施策により徐々に観光需要も回復してくると思われることから、第五次総合計画後期基本計画の期間最終年度の目標値と同様の年間53万人とする。

第五次総合計画 【観光客入込客数】 R1年44万人 → R7年53万人

本 計 画 【観光客入込客数】 R2年40.5万人 → R8年53万人

## 8. 計画推進施策

### 8-1. 施策体系

第2期御嵩町観光基本計画を戦略的に推進するため、4つの基本方針と8つの施策を設定します。

<b>基本方針1：中山道と願興寺を軸とした魅力ある観光地づくり</b>	
<b>【施策1-1】中山道沿道の保全と新たな中山道滞在プログラムの開発</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 国史跡中山道の保存及び活用</li><li>○ 御嶽宿エリア内の古民家など、歴史的地域資源を活用した戦略拠点の整備</li><li>○ 伏見宿界隈の賑わいを創出するソフト事業の展開</li><li>○ 里山集落を活かした新しい観光プログラムの開発</li><li>○ 中山道を活用したウォーキング、サイクルツーリズムの推進</li><li>○ 外国人受け入れ態勢の強化（多言語対応など）</li></ul>
<b>【施策1-2】国重要文化財願興寺を活用した誘客事業の展開</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 願興寺本堂修復過程の積極的な公開</li><li>○ 24体の重要文化財と本堂修復後（令和8年）の願興寺の魅力発信の準備</li><li>○ 願興寺と所縁の深い戦国最強の武将可児才蔵を活用した情報発信</li></ul>
<b>基本方針2：既存メニュー・資源のブラッシュアップと広域連携</b>	
<b>【施策2-1】町の歴史文化と自然に親しむ観光施設の魅力向上</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 三城址（小原城址・御嵩城址・顔戸城址）を活用した誘客事業の展開</li><li>○ 豊かな自然とササユリが群生するみたけの森を活用した誘客事業の展開</li><li>○ 名勝・天然記念物「鬼岩」と天然温泉を前面に出した誘客事業の展開</li><li>○ 食と工芸品の魅力の創出と発信（みたけのええもん、たからもん等）</li></ul>
<b>【施策2-2】広域観光連携の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 周辺市町村や観光資源と連携した広域観光圏の整備</li><li>○ 前後の宿場町と連携したイベントづくり</li></ul>
<b>基本方針3：観光人財の育成と情報発信</b>	
<b>【施策3-1】地域で観光客を受け入れるための人材育成</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 町の歴史や文化をガイドできる人材の育成と既存団体との連携強化</li><li>○ 観光客に出会う一般町民に対する積極的な観光情報の提供</li></ul>
<b>【施策3-2】情報発信内容の明確化と手法の確立</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 顧客ターゲットに応じた効果的な情報発信内容・手法の確立</li></ul>
<b>基本方針4：計画実施・推進体制</b>	
<b>【施策4-1】事業主体（ビークル）の確立</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ まちづくり会社との事業調整と連携</li><li>○ 新たなまちづくり団体等の設立支援とサポート体制の確立</li></ul>
<b>【施策4-2】事業検証・推進体制の確立</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 目標値の設定と成果、効果の検証</li><li>○ 戦略的なプロモーションを行うため、継続的なデータの集積、分析</li></ul>

## 8-2. 施策ごとの具体的取組

【施策 1-1】	《SDGs の推進》				
<p>中山道沿道の保全と新たな 中山道滞在プログラムの開発 国史跡中山道の保存及び活用</p>	<p>3 すべての人に 健康と福祉を</p> 	<p>8 働きがいも 経済成長も</p> 	<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> 	<p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いまある姿を確実にとどめていく」を念頭に、良好な景観と機能の維持</li> <li>○ 多くの人が国史跡中山道を活用できる仕組みづくり</li> <li>○ 国史跡中山道の価値を高めるための整備の検討</li> <li>○ 御嶽宿地域景観等整備指針に基づく継続的な景観づくりの推進</li> <li>○ 街道沿いにある石造物や遺構等の適切な管理と保存</li> <li>○ 中山道保存会（仮称）設立の検討</li> <li>○ みたけ地域活性化委員会の活動強化</li> </ul>					
<p>御嶽宿エリア内の古民家など、歴史的・地域資源を活用した戦略拠点の整備</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 柏屋の登録有形文化財への登録支援をはじめ、民間活力による拠点づくり、賑わいづくりのためのまちづくり会社等との連携</li> <li>○ 古民家活用に対する支援制度の検討</li> </ul>					
<p>伏見宿界隈の賑わいを創出するソフト事業の展開</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域づくり団体や地域住民と連携した伏見宿界隈の賑わいを創出するソフト事業の展開</li> <li>○ 一本松公園における野点やマルシェなど、多彩なイベントの開催</li> </ul>					
<p>里山集落を活かした新しい観光プログラムの開発</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宿泊、店舗、農業、クラフトなど地域資源を組み合わせた新しい観光プログラムの検討</li> <li>○ 史跡指定区域外の既存舗装のアスファルトカラー舗装化の検討</li> </ul>					
<p>中山道を活用したウォーキング、サイクルツーリズムの推進</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車（レンタル電動アシスト）による中山道・鬼岩周遊コースの検討</li> <li>○ レンタル電動アシスト自転車の拡充の推進</li> <li>○ ウォーキングマップ、サイクリングマップを活用した中山道周遊の推進</li> <li>○ 中山道サイクリングコースの誘導サインの設置</li> <li>○ サイクリングイベントの開催</li> <li>○ 町内スポットを巡り、得点を競うロゲイニング※の開催</li> </ul>					
<p>外国人受け入れ態勢の強化</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人来訪者に対応したウォーキングマップの充実</li> <li>○ 観光案内版やホームページ（観光関連）などの多言語化、QRコード化</li> <li>○ 電子決済環境整備の推進</li> </ul>					

### 【施策 1-2】

国重要文化財願興寺を活用した誘客事業の  
展開

42

《SDGs の推進》



### 願興寺本堂修復過程の積極的な公開

- 小中学生を対象とした見学会の開催による町の歴史文化の伝承
- 見学の機会を多く設けることによる願興寺の魅力の広域発信
- 様々な媒体をとおした修復過程の発信

### 24体の重要文化財と本堂修復後（令和8年）の願興寺の魅力発信の準備

- 修復経過映像の活用など願興寺の歴史と魅力を発信
- 身近に重要文化財に触れてもらえる特別展示等の検討
- 願興寺を核とした地域経済の活性化

### 願興寺と所縁の深い戦国最強の武将可児才蔵を活用した情報発信

- 戦国武将可児才蔵の積極的PRによる来訪者の増加
- 可児才蔵語り部による観光ガイドの展開

## 【施策 2-1】

町の歴史文化と自然に親しむ  
観光施設の魅力向上

《SDGsの推進》



### 三城址、寺院等を活用した誘客事業の展開

- 小原城址を拠点とした域内史跡周遊ルートの検討
- 三城址（小原城址・御嵩城址・顔戸城址）をテーマとしたイベント等の開催
- 町内霊場めぐりの創設に向けた調整
- 隠れキリシタンの里の伝承と観光資源化の検討

### 豊かな自然とササユリが群生するみたけの森を活用した誘客事業の展開

- 春夏秋冬、季節に応じたイベントやフォトコン等の開催
- みたけの森花あるき事業の磨き上げのほか、誘客イベントの開催
- 整備された町有林を舞台とした学習会や森林イベント開催の検討

### 名勝・天然記念物鬼岩と天然温泉を前面に出した誘客事業の展開

- ガイド付き岩穴くぐりツアーと鬼岩公園のPR強化
- 公園内の安全施設や衛生施設の修繕、改修の実施
- 新たな誘客イベントの検討

### 食と工芸品の魅力の創出と発信

- みたけのええもん・たからもんの普及とプロモーション活動
- 新たな特産品となる商品の開発促進（願興寺関連等）
- 御嵩町特産品開発普及協議会の支援

## 【施策 2-2】

### 広域観光連携の推進

《SDGsの推進》



#### 周辺市町村や観光資源と連携した広域観光圏の整備

- 隣接自治体との連携による霊場や城址巡りコースの創設の検討
- 新丸山ダム完成を見据え、ダム湖を活用した観光資源化の検討
- 八百津町とのサイクルツーリズムの推奨など、観光資源の連携
- 名鉄広見線活性化関連イベントの開催
- 県観光連盟や圏域観光団体と連携した事業の展開

#### 前後の宿場町と連携したイベントづくり

- 中山道往来におけるおもてなしの更なる充実
- 太田宿との連携事業の模索

## 【施策 3-1】

### 地域で観光客を受け入れるための人材育成

《SDGsの推進》



#### 町の歴史や文化をガイドできる人材の育成と既存団体との連携強化

- 偲歴会、可児才蔵語り部など観光ガイドを対象とした研修会の開催
- 地域づくり団体への支援と連携事業の実施

#### 観光客に出会う一般町民に対する積極的な観光情報の提供

- 広報紙における歴史文化情報の発信継続

## 【施策 3-2】

### 情報発信内容の明確化と手法の確立

《SDGsの推進》



#### 顧客ターゲットに応じた効果的な情報発信内容・手法の確立

- リモート観光を意識した動画の制作と発信
- 観光ホームページのリニューアルとタイムリーな情報の提供
- Wi-Fiスポットの拡充推進
- 観光案内看板等のリニューアルと多言語化
- 新たなフォトスポットの創出など、SNSを活用した積極的な情報発信

※ ロゲイニングとは・・・

地図に示されたチェックポイントを巡り、ポイントごとに設定された得点を競うゲーム。設定ポイントの全てを巡る必要はなく、一般的に遠くにあたり行きにくいポイントほど高い得点が設定されています。ロゲイニングの一つであるフォトロゲイニングの場合、チェックポイントに到達した証拠として予め指示された目印などの写真を撮影します。観光名所などをチェックポイントにすることにより、SNSを介して友達などに楽しさが伝えられ、その拡散効果を期待して町おこしなどに活用されています。

## 9. 計画推進方針

### 9-1. 推進方針

計画の推進にあたっては、行政並びに観光協会、中間支援組織（まちづくり会社）や地域づくり団体等、官民の連携と役割分担が必要です。

#### 【御嵩町観光基本計画 推進方針】

##### ① 官民連携の役割分担

- ・ 官民が連携して役割を明確に分担しながら、観光基本計画の目標の実現に向けて施策や事業化の実現をともに目指す。

##### ② 中間支援組織の必要性

- ・ 官民連携をつなぐ役割として、「歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース」の動きと連動した民間から観光まちづくりに取組む「地域まちづくり会社（ビークル）」などの中間支援組織との連携を図る。
- ・ 中間支援組織が中心となって、地域全体をマネジメントしながら、町民とともに観光を新しい生業として事業化を進めていく。
- ・ 行政は、ビークルの起業・運営支援に努める。

##### ③ 財源の確保及び事業の評価

- ・ 施設の整備やイベント開催等、計画に基づく事業の実施にあたっては財源の確保についても留意するとともに、個々の事業の計画立案、要領策定にあたっては基本成果目標（誘客者数、経済効果等）を設定し、事業完了後にはその評価を行い、改善の必要又は事業継続の有無等について検討するものとする。



## 9-2. 官民連携の役割分担

計画の推進に向けては、官民連携しながら、それぞれ役割分担をして進めていく必要があります。また、民間の中間支援組織がその中間に立って調整推進する役割を果たします。

	行政	中間支援組織	民間
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の策定と推進</li> <li>・ 計画に基づいた公共施設の整備や情報発信</li> <li>・ 中間支援組織の起業・運営支援</li> <li>・ 計画推進のための進捗管理と推進支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家活用やまちづくり事業など、行政と民間をつなぐ計画推進のための事業の実施</li> <li>・ 官民連携の調整や推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画に基づく、官民連携した魅力ある観光事業の展開</li> </ul>

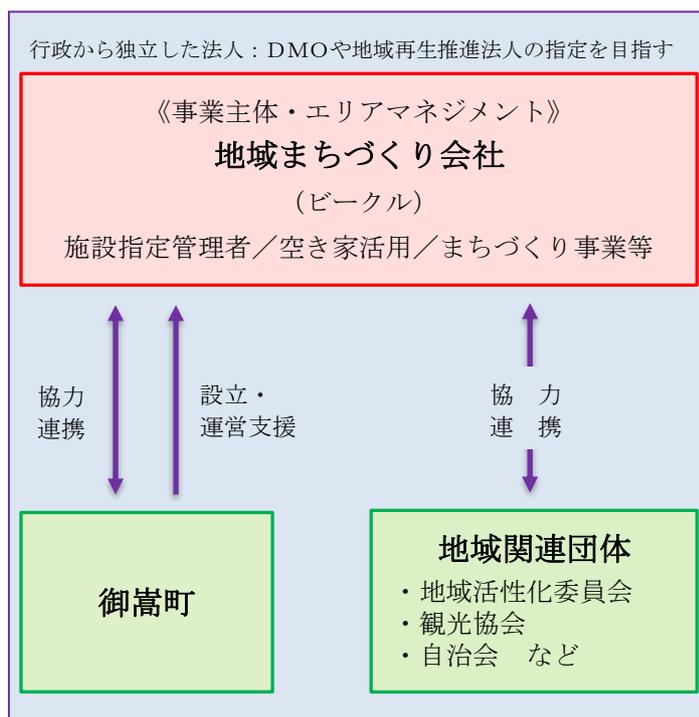
## 9-3. 中間支援組織

### (1) 中間支援組織のあり方

中間支援組織は、DMOや地域再生推進法人などの公的な認定を受けつつも、独立した事業展開を行うために民間の独立した団体として、行政や地域団体と連携しながら計画の実現を目指して事業を展開する団体です。

本町においては、平成30年に1法人、令和3年に1法人設立されました。

#### <組織の位置づけ>



#### <基本方針>

やる気のある事業者（店舗、飲食店、宿泊施設等）、地域団体等と連携し、御嵩町を「中山道の歴史文化と豊かな自然を体感できる宿場町」を目指して、魅力と活力を生み出すための取組を実施する。

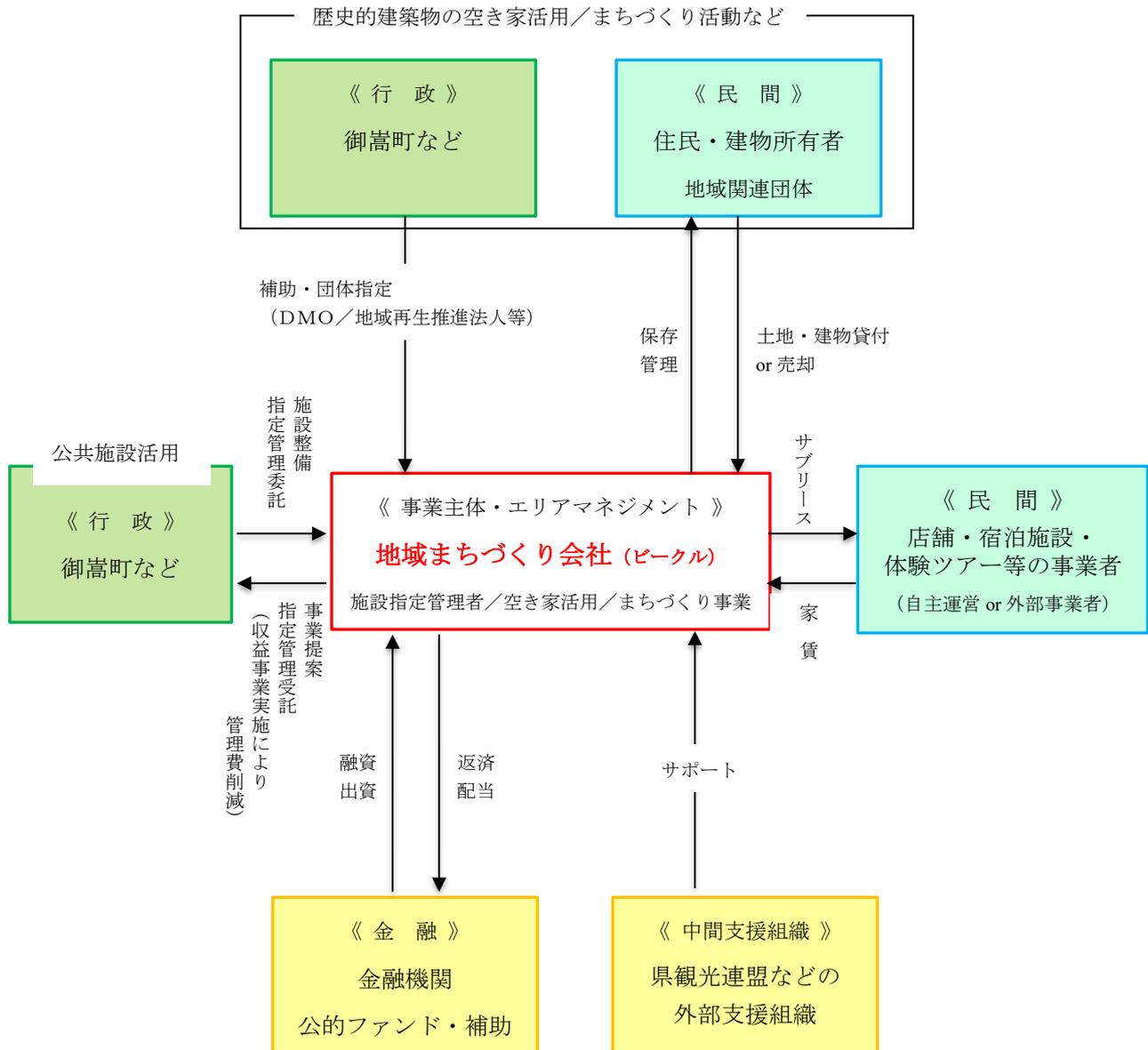
#### <組織の考え方>

- ・ 自治体とは独立した民間の団体とする。
- ・ 関連団体の充て職ではなく、事業を実際に実施する少人数のチームとする。メンバーは、地域の有志を中心に必要に応じて外部からの人材も受け入れる。
- ・ DMOや地域再生推進法人の指定や地域団体との連携など、地域づくりを中心的に担う団体として、地域の一定の理解と認識を得る団体とする。
- ・ 随時、団体設立に必要な手続きを行う。

## (2) 中間支援組織の体制

中間支援組織（ビークル）のポジションや役割は、御嵩町などの公共と、事業者や住民、物件所有者、金融機関などの民間をつないで、エリアマネジメントやまちづくり事業を行う団体です。

ビークルとは、「乗り物」という意味で、同じ理念でまちづくり事業を展開するために、まちづくりプレイヤーたちが乗り合わせる中間事業者としての会社（＝乗り物）のことです。





太平記三十六番相撲 可見才藏  
中山道みたけ館所蔵

## 第2期御嵩町観光基本計画

令和4年度～令和8年度

令和4年3月

〈編集発行〉

御嵩町総務部まちづくり課まちづくり推進係

電話：0574-67-2111

F A X：0574-67-1999

メール：matidukuri@town.mitake.lg.jp